

官報

號外

明治二十九年三月十五日

日曜日 内閣官報局

○第一回衆議院議事速記録第二十八號

(帝國議會)

(佐脇書記官朗讀)

明治二十九年三月十四日(土曜日)午後一時二十三分開議

議事日程 第三十八號 明治二十九年三月十四日

午後一時開議

第一 日本勸業銀行法案(政府提出)

第二 農工銀行法案(政府提出)

第三 農工銀行補助法案(政府提出)

第四 獄疫豫防法案(政府提出貴族院送付)

第五 移民保護法案(政府提出)

第六 河川法案(政府提出)

第七 葉烟草專賣資金會計法案(政府提出)

第八 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第九 北海道鐵道敷設法案(貴族院提出)

第十 右議案ノ審査ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十一 酒精營業稅法中改正法律案

第十二 山形縣下郡分合法案(重野謙次郎君外二名提出)

第十三 郡制改正法律案

第十四 國界變更法律案

第十五 府縣農事試驗場國庫補助法案

第十六 商法中改正法律案(小室重弘君外一名提出)

第十七 明治二十三年法律第四十六號水利組合條例中改正追加法律案(大田信一君外四名提出)

第十八 日本銀行課稅法案(石田貫之助君外三名提出)

第十九 日本銀行條例中改正法律案(石田貫之助君外三名提出)

第二十 日本銀行課稅法案(阿部與人君外三名提出)

第二十一 家祿賞典祿處分法案(深山聰君外三十五名提出)

第二十二 明治二十七年法律第二十號中改正法律案(首藤陸三君外二十八名提出)

第二十三 輸入羊毛海關稅免除法律案(松尾寛二君外七名提出)

○議長(楠本正隆君) 諸君、是ヨリ諸般ノ報告ヲ爲シマスル
政府ヨリ提出セラレタル議案左ノ如シ

(佐脇書記官朗讀)

明治二十八年度歲入歲出總豫算追加案

明治二十九年度歲入歲出總豫算追加案 三通

豫算外國庫ノ負擔トナルヘキ契約ヲナスヲ要スル件

明治二十八年度特別會計歲入歲出豫算追加案

明治二十九年度特別會計歲入歲出豫算追加案

臺灣ニ施行スヘキ法令ニ關スル法律案

臺灣總督府所屬雇員ニ官吏恩給法及官吏遺族扶助法ヲ適用スルノ法律案

豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案 六通

肥塚龍君ヨリ東京市政ニ關スル件ニ付政府へ質問書ヲ提出セラレタリ

(左ノ質問書ハ朗讀ヲ經サルモ參照ノタメ茲ニ掲載ス)

東京市政ニ關スル質問

東京市長タル府知事三浦安ハ就職以來失政ヲ重ね府民舉テ彼ヲ信任セス市會ハ昨年十二月十日又東京府會市部會ハ同年十二月二十一日共ニ知事ニ對シ不信任決議ヲ爲シ直チニ解散ヲ命セラル次テ本年二月十九日府會新タニ召集セラレ開會ノ當日市部會ハ前議ヲ追フテ決議ヲ爲シ再ヒ共ニ解散ヲ命セラル昨年十二月市會解散後市參事會員ハ知事ト意見衝突ノ爲メ出席セス爲の市廳ノ事務停滯シ市吏員方向ニ迷フ

市長タル府知事如何ニ市民ノ信用ヲ失フモ市民如何ニ不便不幸ヲ受クルモ政府ハ捨テ、顧ミサルノ意乎

鑄鐵會社ハ昨年東京市水道用ノ鐵管ヲ偽造シ水道事業半途ニ蹉跎シタルモ政府ハ之ヲ以テ府知事監督ノ務ヲ怠リタルニアラストスル件

右速カニ答辯ヲ望ム

明治二十九年三月十三日

提出者 肥塚 龍
贊成者 室 孝 次 郎

外三十三名

○議長(楠本正隆君) 諸君、茲ニ御吹聽ヲ申シ、且ツ諸君ヘ御禮ヲ申上ゲベ
キ事ガゴザイマス、本日午前宮中ニ於テ親授式ヲ行ハセラレマシテ、正隆ハ
勳一等ニ敍セラレ、瑞寶章ヲ賜リマシテゴザイマス、是ハ決シテ一身ノ勞ニ
依リテ賜リマンタモノトハ正隆ハ信ジマセヌデゴザイマス、御辭令ニ依リマ

スレバ、明治二十七八年事件ノ功ニ依クテ勳一等瑞寶章ヲ賜フト云フ御趣意ニ爲シテ居リマス、茲ニ於テ熟考致シマスルニ、斯ノ如キ光榮ヲ正隆ニ於テ贈ヒマスルノハ、廣島ノ臨時議會ヨリ引續キテ八期ノ議會、四千万同胞ノ代表者タル諸君ガ熱心ニ國ニ盡サレタル功績ニ依クテ、其結果遂ニ正隆ノ一身ニ及シテ此光榮ヲ贈ヒマスルコトハ、申上グルマデモアリマセヌ、誠ニ有り難ク、恐縮ニ堪ヘザル次第アリマス、此事ハ諸君ニ謹テ御報道ヲ申シ誠心以テ御禮ヲ申上ゲマス

(拍手起ル)

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ會議ヲ開キマスル、質問ノ辯明ガゴザイマス、

肥塚龍君

(肥塚龍君演壇ニ登ル)

○肥塚龍君(百七番) 私ハ東京市制ニ關スル質問書ヲバ差出シマシテゴザイマス、其質問書ヲバ初ニ朗讀ヲ致シマスルガ、斯ウ云フ質問書デゴザイマス

東京市長タル府知事三浦安ハ就職以來失政ヲ重ネ府民舉テ彼ヲ信任セス市會ハ昨年十二月十日又東京府會市部會ハ同年十二月二十一日共ニ知事ニ對

シ不信任決議ヲ爲シ直チニ解散ヲ命セラル次テ本年二月十九日府會新タニ召集セラレ開會ノ當日市部會ハ前議ヲ追フテ決議ヲ爲シ新市會モ本年本月十日開會ノ始メニ前議ヲ追フテ決議ヲ爲シ再ヒ共ニ解散ヲ命セラル昨年十二月市會解散後市參事會員ハ知事ト意見衝突ノ爲メ出席セス爲之市廳ノ事務停滯シ市吏員方向ニ迷フ

市長タル府知事如何ニ市民ノ信用ヲ失フモ市民如何ニ不便不幸ヲ受クルモ

政府ハ捨テ、顧ミサルノ意乎
鑄鐵會社ハ昨年東京市水道用ノ鐵管ヲ偽造シ水道事業半途ニ蹉跌シタルモ右速カニ答辯ヲ望ム

ト云フノガ質問書ノ文ゴザイマス、私が此質問書ヲバ出サナケレバナラスト云フ境遇ニ在リマスルノハ、大抵諸君モ御承知ゴザイマセウガ、實ニ此質問ハ已ムヲ得ザルコトニ出タノデゴザイマス、此質問書ニモ書イテゴザイマスル通、昨年十二月ニ此元來現在ノ市長タル東京府知事、東京府知事ハ元來市民ノ受ケノ善クナイ人デアル、其上昨年彼ノ鑄鐵會社事件ト云フ、實ニ世ニモ稀ナル所ノ大失策ヲベ惹起シタガタメニ、東京市民百四十万人ヲバ代表スル所ノ市會デハ、知事不信任決議ヲ爲スヤ否ヤ、忽チ解散ヲ命ゼラレタノデアル、市會ハ直グニ解散ヲ命ゼラレタノデアル、續イテ府會ノ中ノ市部會ハドウデアルカト云フト、市部會モ矢張市民ヲバ代表スルモノデアリマスルカラ、是モ同一ノ知事不信任決議ヲ爲シタノデゴザイマス、ソレカラシテ本年ニ是ガ昨年十二月二十一日ノ市部會ノ解散デゴザイマス、ソレカラシテ本年ニ爲シテ、二月十九日ニ解散後ノ市會が開カレテ、サウシテ其弊頭第一ニ前議ヲ執カテ、此市部會ハ不信任決議ヲシマスルト、忽チニ是ニ解散ヲ命ゼラレ

テ、即チ市部會ハ一度ノ解散ニ爲シタノデゴザイマス、ソレカラシテ本年本月ノ去ル十日ダヤ、十日ニ解散後ノ市部會が開カレタノデゴザイマスガ、此市部會モ前議ヲ執カテ不信任ノ決議ヲ爲シテ、直グニ解散ヲ命ゼラレタノデ、十二日ノ夜解散ノ命令ヲバ吾々ハ受取ツタノデゴザイマス、斯様ナ譯テ解散ハ是ガ市會ト市部會トテ四度ノ解散デゴザイマセウ、其外ニ又十五區ノ區會ノ中テ、淺草區ヲ始メ其外三箇所ノ區會が解散ヲ命ゼラレテ居ルノデゴザイマス、ソレカラシテ市參事會ハ然ラバドウデアルカト申シマスルト云フト、市參事會員ハ此知事ト總テ意見ノ衝突ノタメニ、市參事會へ碌々出席ヲセナイスウ云フ話デゴザイマシテ、唯今市參事會ノ有様ハドウデアルカト諸君ガ御覽ニナリマシタレバ、實ニ驚クバカリノ話デアツテ、昨年ノ十二月中旬ニ市會が解散セラレテカラ、今日マデハ殆ド市參事會ノ事業ト云フモノハ停止ノ有様デ、今日市參事會ノ室内ニ入シテ御覽ニナツタレバ驚ク程ナ話デ、市參事會ノ事務山ノ如ク停滞シテ、其書類ト云フモノハ纏ニタバネテ、市參事會ノ室内ニ積重ネテアルト云フノガ、今日ノ有様デゴザイマス、又之ニ就イテ十五區ノ區會ハ、區ノ有様ハドウデアルカト申シマスルト云フト、今日ハ年度ノ繼目、二十八年度カラシテ二十九年度ノ繼目ノ間際ニ爲シテ居リマス、此繼目ノ間際ニ爲ル前ニ、市參事會カラシテ十五區ヘ二十九年度ノ豫算ト云フ議案ヲ出サナケレバナラヌ、所ガ、市參事會ハ御休ト云フ話デアル、市參事會が出席員ガナイト云フタメニ、今日マデ十五區ノ區役所ヘ二十九年度ノ此豫算ト云フモノハ、諸君、マダ渡シテ居ラナイノデゴザイマス、府會ヲ開クコトモ出來ナイ有様デゴザイマス、此位ナ有様デゴザイマスルカラシテ、殆ド東京市ノ政治ハ今日ハ御休ト云フ位ナ不幸不便ナル有様ニ爲シテ居ル、其解散ト云フモノガデス、政府ハ「ノ市會ニ向シテ二度ノ解散ヲ重ね、」ノ市部會ニ向シテ二度ノ解散ヲ重ネタノデアリマスガ、此解散ト云フモノハ、斯ル數限リナキ解散ト云フモノヲバスペキモノノデアルカト云フコトヲ一考致シマシテ見マスルト云フト、私ハ此二度モ三度モ、市部會ナリヲ解散スルト云フコトハ、若シ外ニ理窟ノアルコトガアルカハ知リマセヌガ、立憲政治ト云フモノ、下ニ接思スルモノ、頭ニハ、同ジ事件デ同ジ市會、市部會ヲバ、一度ノミナラズ二度モ解散スルト云フコトハ、立憲政治ノ下デ其道理ヲ見ルコトガ出來ナイ話デアル、現在ノ内閣ハ如何ナルマセヌガ、立憲政治ト云フモノハ、世ニモ名高キ所ノ伊藤内閣ノ言ハレタ事ガゴザイマセウ、吾々ハ憲法ノ條章ニ遵ヒ、立憲的ノ動作ヲ爲スト云フコトハ、實ニ伊藤侯其人ノ口カラ出タ所ノ言葉デゴザイマスガ、解散ト云フモノヲバ同一理由ノタメニ二度ノ解散ヲ命ズル、即チ懲罰ノ解散、懲罰的ノ解散ト云フコトハ、立憲政治ノ下ニ在ル事デゴザイマセウカ、又市會ハ解散セラレ、市部會ハ解散セラレタガ、御承知ノ通解散ト云フモノハ、立法行政ノ衝突シタ場合ノ事ヲバ融通スル、緩和スルト云フ所ノ事ハ「ノ立憲政治ノ道具ニ爲シテ居ル、立法政治ノ衝突ノ時ニ議會ノ解散ヲ命ジテ、果シテ解散ヲ命ゼラレタ

所ノ市會ナラ市會、市部會ナラ市部會、國會ナラ國會、ソレガ信用ガアルカナイカト云フコトノ裁判デゴザイマセウ、是ガ輿論ニ訴ヘル所ノ裁判デアル、昨年十二月二十一日ニ市會ヲ解散セラレタ、其市會ハ何ガタメニ解散セラレタカト申シマスルト、東京府知事ハ鑄鐵問題ヲ始メ、色ミノ失政ガアルカ任セナイト云フ決議ヲシタノデゴザイマセウ、ソコデ政府ハ之ニ解散ヲバ命令タノデゴザイマスガ、解散後ノ市會ハ諸君、ドウデゴザイマセウ、若シ此不信任決議ガ不當ナル決議デゴザイマシタコトナレバ、先キノ市會議員ハ少クトモ過半ハダ——半分以上ハ更ツテ出テ來サウナモノデゴザイマスルニ、市會ヲ解散シテ選舉シテ見マスルト云フト、是モ舊議員、是モ舊議員、六十八ノ議員ガ五十八許ハ元ノ議員其儘デ、スックリ出テ來タト云フノデゴザイマスカラ、立派ニ是ハ府長タル府知事が惡ルカツタト云フ判決ニ爲シテ居ルノデゴザイマセウ、シテ見レバ是非曲直ハ此選舉デ立派ニ分ツテ居ルノニ、又モヤ一昨日政府ハ東京市會ノ解散ヲ命ジ、市部會モ其通デ、二度ノ解散ヲ命ゼラレテ、又市部會ハ來ル二十五日ニ選舉ガゴザイマス、二度解散セラレタ所ノ市部會ハ來ル二十五日ニ選舉デゴザイマスカラ、來月ノ初メニハ又此府會モ開ケルデゴザイマセウ、此模様デ參リマシタナラバ來月ノ初ノ府會ト云フモノモ亦不信任決議デ屹度解散ヲ命ゼラル、デアラウト私ハ思フガ、政府ハドウシテ此東京ノ市政ト云フモノヲバヤル積デゴザイマセウ、先キニモ述ベマシタ通、市參事會員ノ此室ノ中ニハ事務停滞シテ書類山ヲ成シテ居ル、年度ノ末今日ニ追ツテ居ルノニ、十五ノ區會ハマダ議案ヲ出ストガ出來ナ、事業ハ悉ク停滞シテ居ルト云フ有様デアルノニ、唯集ツテ決議ヲスレバ忽チ解散ヲ云フコトニ爲シテ來マシタ日ニハ、東京ノ政ハ逆モ出來ル話デハナイ、市會ノ解散デ是非曲直ハ分ツテ居ル、即チ府知事が惡ルクツテ市會、市部會ガ宣カツタト云フコトハ分ツテ居リマスナレバ、此市會ナリ、市部會ナリガ降參ヲ致シマシテ、解散ヲセラレテハ恐ロシウゴザイマスルカラ、今度ハ不信任決議ヲヤリマスマイト云フヤウナ腰ノ拔ケタ所ノ市會、市部會デハナイ、幾度解散セラレテモ是ガ道理デアル、是ガ直道デアルト云フコトヲ信ジタ以上ハ、真直線ニ進デ行クノニ相違ハゴザイマセスガ東京府知事ノ失政ト云フモノヲ目前ニ歴々見エテ、此百三十万人ノ大都會ノ政ハ出來ナイト云フコトハ、三歳ノ童子ニモ歴々見エテ居ル事デアルノニ、大日本帝國ノ内閣諸大臣丈ノ眼ニハ此失政ガ分ラナイカト私ハ疑フノデアリマス、又此東京市ノ政ノ亂レタルト云フコトニ就キマシテハ、此議會デモ獸ヲテ居ルコトノ出來ヌコトガアルノデゴザリマセウ、ソレハ何デアルカトマス、國庫カラ是ダケノ大金ヲ與ヘテ此水道事業ハ爲サシメタルノニ、其監督長官タル府知事ノ怠慢デアシタカタメニ、請負ッタ所ノ會社ガ偽造ノ鐵管ヲ搭ヘテ埋メ掛ケダト云フ話デゴザイマス、誰が見マシテモ利害曲直分明ナ

ルモノデゴザイマスル、是ダケ分明ナルモノデアルニ、其曲直ノ曲ノ側ニ立テ居ル人、利害ノ害ノ側ニ立ツテ居ル所ノ府知事ト云フ者ハ、幾ラ市會カラ責立テ、モ、市部會カラ責立テ、モ、區會カラ責立テ、モ、政府ガ府知事ノ尻押ニ爲ツテ、知事ノ地位ノ重キコト山ノ如ク、市會、市部會等ノ此團體ニ向ツテ、内國ノ法律上ノ團體ニ向ツテハナカヽ強硬主義ヲ執ツテ居ラルノガ、外國ニ對スルト弱イヘ外トカラ見マスルト丁度正反対ニ爲ツテ來ルノデアルカラ、外ニ對シテ恐ロシイ其怖サハ、内ニ對シテ強手段ヲ取り、以テ不平ヲ漏スヤウニ吾ミハ想像ガ出來ルノデゴザイマス、ドウゾ政府ハ内地ニ對シテハ斯ル道理以外ノ舉動ヲスルコトヲ止メテ、弱キ政略ヲ執ツテ貰ヒタイン、則チ府知事ノ失策ハドナタモ御一人モ異議アリマスマイ、其府知事ニ失策ガアルカラト云ツテ、ソレヲ責立テ、居ル役目ヲ持ツテ居ル市會、市部會ガ責立テマスルト、其責立テル者ハ貴様達ハ宜クナイ、貴様達ハ解散ヲ命ズルト云フテ、懲罰的ニ解散ヲ命ゼラレテ歴々曲ツテ居ル、不都合デアル、怠慢ノ責免レザル所ノ府知事ハ政府ガ尻押ヲシテ、ナニ如何ニ市會ガ決議ヲシヤウガ、市部會ガ決議ヲシヤウガ、己達ガ後トニ控ヘテ居ルカラ、決シテ心配スルナト云フヤウナ政治ハ、亂暴ナル人ハ出來ルカモ知レマセヌガ、道理アル思想ヲ持ツテ居ル者ハ、逆モ出來ナイ話デハゴザイマセヌカ、唯今ノ府知事ハ三浦安ト云フ人デ、貴族院ノ議員デゴザイマス、三浦安ト云フ人デゴザイマスルガ、世間ハ此三浦安ト云ヘバ斯様デアル、鐵面皮デアル、東京市ノ今日ノ議りハ三浦安一身ニ集ツテ居ル、又府廳ノ役所ニ往ツテ御覽ナサイ、使ノ端ニ至リマスルマデ、時ニイツ知事サンハ御更リニナルノデゴザイマセス、小使ノ端ニ往ツテ役所ノ有様ヲ見ルト斯様ナ有様デゴザイマス、子供ノ時分ニ古イ書物ヲ讀ンダ、其中ニ「此日イツカ亡ビン我汝ト共ニ亡ビン」ト云フコトガ昔ノ古イ書物ノ中ニ在ツタガ、今日ノ東京府廳ハソレト同ジ事デアルテ、小使ノ端ニ至リマスルマデ、此三浦安攻撃説ガ今日ハ流行ツテ居ルノデゴザイマスガ、私カラ見マスルト三浦安ト云フ人ハ鐵面皮ハ成ウ、何分事務ガ停滞シテ、吾ミ方向ニ迷フト云フノガ、今日ノ東京府ノ有様デゴザイマス、私共ハ度々行クベキ用事ガアルテ行キ、又議會杯ニ行クベキ用事イ餘程膽小ナル人デアルト私ハ考ヘルノデアル、ナゼカト申シマスト

○肥塚龍君(百七番) 發言中ニ——ナゼカト申シマスト

○平島松尾君(百八十四番) 議長、々々

○肥塚龍君(百七番) 發言中ニ——ナゼカト申シマスト

○肥塚龍君(百八十四番) 議長、々々

知事ガスノ如キ強情ランキ顔ヲシテ居ルト云フコトハ外デハゴザリマセヌ、私共ハ三浦安氏ト交際ヲシテ知ッテ居リマスガ……

(此時平島松尾君發言ヲ求ム)

○議長(楠本正隆君) 肥塚君——發言ヲ求ム者ガアリマスカラ、暫ク御待チナサイ——百八十四番

○平島松尾君(百八十四番)

東京府知事ハ既ニ更迭ニ爲ツタサウデスガ、尙水縷々御述べニナル必要ガアルデゴザイマセウカ

○肥塚龍君(百七番) 早速御答申シマス、私ハ此質問書ヲ出シマシテ、府知事ノ更代ニ爲ツタ事ハ知リマセヌダタガ、唯今百八十四番カラ御報告デゴザリマスルガ、果シテ其事實アレバ私ハ拍手シテ祝サナケレバナリマセヌ、無論此演説ハ不必要ノ演説デゴザイマス、其事實ハ確實ナルモノデゴザリマスカ

○平島松尾君(百八十四番)

確實デゴザリマス

○松田秀雄君(百八十一番) 自分ハ唯今出席ヲ致シマシタ、東京府廳參事會へ出席致シマシタガ、全ク前三浦知事ハ披露ニ來ラレマシテ、宮中顧問官ニ轉任サレマシタノデゴザイマス

○肥塚龍君(百七番) ソレデハ私ハ此議場ニ謝シマス、松田君ハ市參事會員ノ一人デ御聞ニナツタト云フノデアリマスカラシテ、是ヨリ確實ナ事實ハゴザイマセヌ、其市參事會員ナル松田君ガ今聞イテ來タト云フコトデゴザイマスカラ、私ガ知ラナンダト云フコトモ、諸君ノ御承知ヲ願ハネバナリマセヌ、實ニ無益ノ事ニ此議場ヲ煩シマシテゴザリマスカラ、是ハ私ガ知ラナンダタメニ無益ノ時間ヲ諸君ニ費サセマシタト云フコトヲバ、此席ニ於テ諸君ニ一言致シテ、且ツ府知事ノ更ツタノハ實ニ大杯デ祝サナケレバナラスト云フ一言ヲ述ベテ置キマスデゴザリマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ第一ノ日程、日本勸業銀行法案二讀會ノ續、第二十九條ヨリ三十五條マデガ議題ニ爲ツテ居ッテ、三十四條ニ河島君ノ修正案が出テ居リマス——又田口君ノ修正說ガアリマス——田口卯吉君

第一 日本勸業銀行法律案(政府提出)

第二讀會ノ續

(田口卯吉君演壇ニ登ル)

(拍手スル者アリ)

(河島醇君「一寸伺ヒマスガ今議題ニ爲ツテ居ルノハ何條ヨリ何條マデ

デスカ」ト呼フ)

○議長(楠本正隆君) 二十九條ヨリ三十五條マデガ議題ニ爲ツテ居リマス○田口卯吉君(二百六十九番) 諸君、本員ハ此勸業銀行ノ法案ニ對シテ反對ノ意見ヲ持テ居リマス者デゴザリマス、既ニ其說ガ行レマセヌ以上ハ、成ルベク其弊害ノ少カラシコトヲ希望致シマスル點カラシテ、此三十四條ニ於キマシテ修正ヲ加ヘタイト思ヒマスル、其修正ハ原案ニ於キマシテ「拂込金額ノ十倍」トゴザリマスノヲ「三倍」ト改メタイト思フノデス、然ル所以ハ此拂

込金額ノ十倍ト爲リマスルト、勸業債券ノ發行額ガ過日モ申述ベマシタ如ク一億圓ニ上ボルコトデゴザリマスル、我日本今日ノ經濟世界ニ一億圓ノ債券ガ現レ出ルト云フコトハ非常ナル事デアル、若シ又是ト同時ニ農工銀行ノ債券ガ原案ノ如ク五倍發行セラレマシタ時ニハ、是モ一億五千万圓社會ニ發行ニナル、サウ致シマスルト勸業債券、農工債券、共ニ合併シテ二億五千万圓ノ債券ガ國中ノ經濟市場ニ現ハレ出ルト云フコトニアツテ、是ハ實ニ容易ナラヌ事ト思フノデゴザリマス、私が近頃政府案ニ依ツテ日本ノ此公債其他ニ依ツテ、日本ノ此資本ヲ——流動ヲ起シマスル金額ヲ考ヘテ見マスルノニ、軍事公債ノ募集金額ガ今日ニ於キマシテハ實ニ一億二千五百万圓ニ上ボツテ居リマスル、而シテ此度ノ事業公債ガ一億三千五百万圓デアル、鐵道公債ハ六千八百万圓、今年ハ否決ニ爲リマセウガ、明年ハ必ズ通過スルニ達ヒナイ、北海道鐵道ノ敷設モ三千三百万圓、是ハ貴族院デ出テ居リマス、是モ必ズ可決シナケレバナラヌモノト本員ハ信ジテ居ル、此餘ニ第二期ノ鐵道ヲ繰上グルヤウナコトニ爲リマシタナラバ、此金額モ六千万圓カラデゴザリマセウ、ソレハ取除ケト致シマシタ所ガ、以上述ベマシタダケヲ總計致シマスルト、以上述ベマシタ餘ニ唯今ノ勸業債券一億圓、農工債券一億五千万圓ヲ總計致シマスルト、六億千萬圓ノ資金ヲ募ル、理窟ニ爲ルデス、此四五年ノ間ニ日本ノ經濟市場ヨリ六億千百万圓ノ金ヲ募リ上ゲルト云フコトハ、是ハ容易ナラヌ話デアラウト思フデス、是ハ勸業債券ナリ、事業公債ナリ、鐵道ノタメニ資金ヲ募ルナリハ、必シモ軍ニ消滅スル如キモノトハ同一デハゴザリマセヌコトハ申スマデモナイ事デゴザリマスルガ、此六億千萬圓ノ資金ト云フモノハ、決シテ今マデ藏ノ中ニ這入ツテ居ツテ用ヒナカツタ金ト云フコトハ出來ナイ、必ズ商業ナリ、工業ナリ、其他ニ適用シテアツタニ違ヒナイ、之ヲ一時ニ引上げテ、此點ニ注グト云フコトハ民間ノ事業上、大ナル變動ヲ生ズル如何ナル成算ガアラテ斯ノ如キ案ヲ出サレマシタカ、本員ハ實ニ辯明ヲ求メ増スヨリモ商業上ニ有害ナリト言ツテ、ぐらつどすとん环ハ公債募集ニ反對ヲシテ居ル、其言葉ハ過激デゴザリマスガ、免ニ角公債募集、或ハ資金ヲ募集スルト云フコトヲ急激ニヤルト云フコトノ經濟上ニ有害ナルコトハ明ナ事デゴザリマセウ、然ルニ今此四五年間ニ六億千百万圓ノ資金ヲ日本ノ經濟上ヨリ募ルト云フノハ、餘り過激、餘り大膽ナル仕方デアル、大藏大臣ハ此勸業債券ノ發行ト云フモノヲ拂込金額ノ三倍ニ切ル、即チ一千萬圓ノ資金デ、三千万圓ノ債券ヲ發行スルト云フコトニ致シタインデアルデス、農工債券ハ其拂込金額ト同額ダケ、即チ二千万圓ノ發行、詰リ勸業債券ト共ニ合併シテ千万圓ダケノ債券ノ發行ヲ日本經濟界ニ許シタイト思フノデス、其時更ニ增加シテモ宜シウゴザイマセウ、今カラ豫メスノ如キ巨額ノ債券發

行ヲ此會社ニ許シテ置キマスルノハ、決シテ持重ナル政策トハ私ハ信ジナイ、若シ一度之ヲ許シテ置キマシタ後ニ方ツテ、此債券發行ノ權利ヲ殺グト云フコトハ、實ニナカヽ至難ナル事デゴザリマスル、諸君、私ハ明言シテ置ク、決シテ此債權發行ノ權ヲ此會社ニ許スノハ、他日日本ノ財政家ニ向ツテ實ニ困ツタコトヲシテ吳レタト云フ嘆息ヲ他日聞クデアラウト思フ、彼ノ是等ノ人ガ此債券處分ノ時ニ方ツテ、此債券ノ金額ノ少イト云フコトハ、此財政家ノ喜ブ事デアラウト思フ、諸君、彼ノ此度處分セラレタ彼ノ日本國立銀行ノ發行紙幣ハドウデアル、其發行高ハ僅ニ一千餘万圓ニ止マッテ居ル、併ナガラ當時ノ大藏大臣ガ之ヲ處分スルノニ實ニ困苦セラレタルコトハ、是等ノ年限ヲ限ルノニ二十四年ヲ以テシテ、此議會ニ至ルマデモ十分ニ處分スルコトガ出來ズシテ、此度ノ銀行法案ノ如キ變則ナル方法ヲ以テ僅ニ處分シ終ツテ、ヤット日本ノ貨幣統一ト云フコトヲ行ヒ得タルノデハゴザイマセヌカ、然ルモ尙ホ此既得ノ權利ヲ蹂躪スルト云フヤウナ言葉ガ、此議場ニ度々出ル位ノ事柄デアルデス、況シテヤ此債券ヲ再ビ許シテ、此之ヲ殺グト云フコトハ實ニ容易ナラヌ事デゴザイマスルカラ、豫メ此債券ノ發行ヲ許サヌデ置ク、許サナイコトヲ至當ト考フル、サレバ本員ハ此場合ニ於キマシテ拂込金額ノ三倍ヲ限ル——拂込金額ノ十倍ト云フ原案ヲ、ニ倍限ト云フヤウニ改メタイ、ドウゾ此事ハ諸君ノ御贊成ヲ請ヒマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○吉富簡一君(二百九十二番) 一寸御問シマス、唯今御述ノ處ハ前日以來ノ御趣意デアツテ、聊カ同感ノ處モアリマスルガ、唯今ノ御辯明ハ三倍ト云フノデスカ

○田口卯吉君(二百六十九番) 左様デス

○吉富簡一君(二百九十三番) 是ハ固ヨリ贊成ヲスル譯デアリマスルガ、私ハ少シク見ル所ガアリマシテ、成ル程原案ノ上デハ御述ノ通二十倍ト言ヘバ一億千万圓ト云フノデゴザイマスルガ、資本金四分ノ一以上ノ拂込ノコトデゴザイマスルカラ、必ズヤ一億千萬圓トハ見ラレナインデアル、又實際之ヲ立て、往ク以上ハ、隨分此勸業ノコトニ就イテハ各府縣ヨリ請求ヲシテ借入ヲ望ムコトモアルデアラウト考ヘル、故ニマルデ止メ仕舞フト云フコトナラ宜シイケレドモ之ヲ取立テ、往ツタ以上ハ、金ガ不足ニナツテ要求ニ應ズルコトガ出來ナイト云フコトハ甚ダ遺憾デアル、因テ私ガ考ヘル所ハ、此原案ノ十倍ト云フノハ如何ニモ御述ノ通多キニ失スル、何時デモ増サセルコトハ出來マスルカラ、唯今田口君ノ御修正ヲ五倍ト云フコトニ御訂正ガアルナラ、私ハ贊成ヲシタインデアル、併シ一旦御訂正ノコトデアリマスルカラ、ドウシテモ三倍デ宜シイト云フコトナラ、私ハ別ニ議論ヲ述ベヤウト思ヒマス

○田口卯吉君(二百六十九番) 本員ハ三倍ト云フ說ハ動カナイ、若シアナタノ方デ御動スナラ免モ角モ……

〔政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(添田壽一君) 每度田口君ヲ勞シマシテ、甚ダ申譯ガアリマセヌデアリマスケレドモ、此點ハ矢張此法律ノ根柢ニ關係ヲ持テ居ルコトデゴザイマスルカラ、已ムヲ得ズ田口君ニ御再考ヲ煩シタイノデゴザイマス、三倍若クハ五倍ト云フハ、如何ナル標準カラ割出サレタモノデアルカト云フコトヲ承リタイノデ、此原案ノ趣意ト申シマスルノハ、登記簿ニ載ツテ居リマスル不動産ノ質入、書入ノ總額三億四千一百万ト云フ邊カラ割出シマシテ、且ツ此銀行ガ農工銀行ノ債券ヲ引受ケルト云フ大ナル義務ヲ有シテ居ルト云フ點カラモ計算ヲ致シマシテ、成ルベク當リ前ノ利益ハ、此銀行ガ十箇年後ハ得ルト云フ計算ニ基イテ立テタモノデゴザイマスルガ、唯或ハ三倍、或ハ五倍ト云フ御標準デハ、此立法ノ上ニ於テ一大缺點ガアラウト考ヘルノデアリマス、又三倍位デゴザイマスレバ、別段特別ノ法律ニ依ツテ此度ノ銀行ヲ御設立ニナラズトモ、一般ノ法律ニ依ツテ倍マデハ發行シ得マスルカラ、此銀行ガ特別ナル勸ラスルト云フ力ガ、ソレデハ付ケラレマセヌノデアリマス、況ヤ此債券ト云フ此空ニ一億万圓ボカリト出ス譯デハゴザイマセヌ、必要ノ貸付ニ基イテ、土地ノ抵當ニ基イテ出スモノデゴザイマスルカラ、茲ニ農業、工業ノ改良發達ト云フ事實ガ起ツテ、其事實ニ基イテ發行スルモノデゴザリマスルカラ、故ニ唯世間ノ何モ知ラナイ人ガ、紙幣デモ増發セラル、ガ如キ觀念ヲ以テ、此標準ヲ極メラレルノ類ニ至ツテ甚ダ遺憾ト存ズルノデアリマス、ソレデ此過日モ申上ゲマシタ如ク、我國ノ土地ノ信用ヲ開發シ、殖產興業ノ目的ヲ達スル材料ト云フノニハ、ドウシテモ斯ノ如キ事實ニ基イタル計畫デナケレバナラスト信ズルノデゴザイマス、ソレデ公債ノ如キハ募集セラレルト云フ、今日軍國ノ後ニ於テハ殊更ニ此殖產興業ト云フ必要ヲ認メナケレバナラヌノデアリマスカラ、ソレガ無用デアルト云フ御說デナクシバ、ドウカ此實數ニ基イタル十倍ト云フコトハ、成ルベク御動シニナラザヌコトヲ希望スルノデアリマス

○河島醇君(百七十九番) 政府委員ニ質問ガアリマス、本員ガ政府委員ニ質問致サントスルノハ、今田口君ノ修正動議ニ政府委員ガ反對ヲ致サレタ其點デゴザイマス、曾テ政府委員ハ第十六條ノ但書ノ「舊債アル場合ニ於テ」云々ト云フ處ノ説明ニ、是ハ唯舊債アル時ニ貸付ケルモノデハナイ、其貸付ケベキ所ノ抵當物ハ、必ズ先キニ此銀行ノ性質ニ適スベキ土地ノ改良、其他ニ使用シタ所ノ資本ノ債ヲ負ツテ居ル者ニ限ツテ之ヲ貸スト云フコトヲ言ハレタ、然ルニ今田口君ノ修正動議ニ向ツテ答ヘラレタノハ、此十倍ノ金額ヲ定メタノハ、全國中ノ不動產額登記簿ニ載シテアル所ノ價格ニ依ツテ割出シテアルト云フコトヲ言ハレタ、ソレヨリ推シテ見ルト、此但書ニ依ツテ貸付クルニ就イテハ云々答ヘラレタ所ノ理由ト、今登記簿ニ載ツテ居ル所ノ抵當物ト云フモノハ、悉ク農業ノ發達改良ノタメニ借りテ居ルモノデアルヤ否

ヤ、果シテ其巨額ノ債ヲ帶びテ居ル所ノ不動産ハ、皆農業上、工業上ノ改良發達ノタメニ負債ヲ背負フテ居ルモノデアルヤ否ヤト云フコトヲ、審ニ説明アランコトヲ希望シマス

(政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル)

○政府委員(添田壽一君) 御尤ナル御疑ニアリマスルガ、此登記簿ニ於キマシテハ、負債ガ起リタル原因ハ記載シテゴザイマセヌ、故ニソレハ確實ニ何圓ガ舊債ニ起り、何圓ガ生産ニ基キタル舊債デアルト云フ調査ハ出來ナシノデゴザイマスルガ、假ニ其總額ヲ見テモ三億四千ト云フガ如キ多額ノ土地ガ我國デハ負債ノ下ニ沈シテ居ル所ニ必要ガアツテ引出シタノデゴザイマス

○河島醇君(百七十九番) 其邊デアラウト考ヘタ
○田口卯吉君(二百六十九番) 唯今政府委員ノ辯明ノ如クバ、尙更二億五千萬ノ債券ヲ發行スル必要ハナイト云フコトガ分ッテ來ル、登記簿ニ載ッテ居ルノガ三億圓、而シテ登記簿ニ現在載ッテ居ル土地ト云フモノハ必ズ農工銀行第七條ニ依リテ開墾、排水其他ノタメニ金ヲ借りテ居ルモノデナクシテ、東京ノ如キ都會地ノ地面、或ハ地方ノ即チ豪農ノ地面等ノ金ヲ借りテ登記ヲサレテ居ル者が多數ナンデアル、ソレ等ノモノニ向ツテ農工銀行、或ハ勸業銀行ノ債券ヲ發行スル必要ハナイ、又政府ハソレヲ目的トシテ發行シヤウト云フコトハ、政府委員ハ一言モ御發シガナカタノデアル、サレバソレ等ノモノヲ除ケバ新ニ開墾ナリ、排水ナリノタメニ發行スルノニ、何デ是カラ先キニ二億五千万ノ債券ヲ發行スル必要ガゴザイマセウカ、本員ノ見ル所デハ東京ノ勸業銀行ガ三千万圓發行シテ、地方ノ農工銀行ガ三千万圓發行シテ十分デアルト信ジテ居ル、ナゼナラバソレハ即チ私ニ開墾等ニ向ツテ用ヒル資本ヲ集メルノデアルカラデス、他日果シテ其必要ガアルナラバ、別ニ又追ツテ特權ノ區域ヲ擴ムルト云フ場合ガナインデハナイ、サレバ唯今政府委員ノ辯明セラレタ所ハ、此勸業銀行ノ法律ノ發行セラレタル精神トハマルデ必要ガアルト云フニ至ッテハ、最モ事情ニ疎イ御論ト信ジマス

(「質問デナイ」ト呼フ者アリ)

○井上角五郎君(二百七十六番) 一寸一言致シマス、今田口サンノハアレハ質問デゴザイマスカ、演説デゴザイマスカ

○議長(楠本正隆君) 私ハ質問ト思ツタ所ガ……

○田口卯吉君(二百六十九番) 質問ノ趣意デゴザイマスガ、政府委員ガ辯明

○井上角五郎君(二百七十六番) 勝手次第ニア一云フ議論ヲサシテハ困ル、少シ議長ハ整理ナサツテ下サイ、時日モ少ウゴザイマスカラ

○議長(楠本正隆君) 質問デアルト云フコトデアルニ依リテ許シタ

○井上角五郎君(二百七十六番) アー云フノハ質問デアルト云タモ、言ハサヌヤウニセネバナラス

○議長(楠本正隆君) 質問デアルト云タテ發言スレバ、ドウ云フコトヲ言フカ、議長ニハ分リマセヌ

○田口卯吉君(二百六十九番) 一寸辯明シテ置キマス、政府委員ハ私ニ質問スルト仰シャツタ、政府委員ノ方テ(笑聲起ル)

(草刈親明君演壇ニ登ル)

○草刈親明君(二百三十二番) 諸君、私ハ三十五條ノ但書ヲ削除スルト云フ說ヲ出シマス、即チ三十五條ニハ「勸業債券ハ券面ノ金額ヲ五十圓以上トシ無記名利札附トス但應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得」但勸業債券ハ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リテ記名ト爲スコトヲ得ルト云フ、此但書ヲ削除致シタイト云フコトヲ考ヘマスルノデゴザイマス、此事ニ就イテハ昨日來ノ事實ヲ多少申上ゲナケレバ、私ノ意味ハ貫徹致サヌト思ヒ

マスカラ申上ゲマス、私ハ昨日モ屢々申シマシタ通外國人ヲ勸業銀行ノ株主トスルニ於テ、間接ニ日本ノ土地ノ所有權若クハ占有權ヲ與フルモノニ相成ルノデアル、此事ニ就キマシテハ昨日退院後澤山ナ人ノ御意見モ承リマシタ

ガ、私ハドウシテモサウ信ズルノデアル、其理由ヲ一つ述べテ、ソレカラ此本條ニ移ランケレバナラヌ、ト云フモノハ諸君モ御承知ノ通、日本ノ此修正民法ノ成案ニ依レバ、土地ヲ抵當ニシテ金ヲ借ル、其借ルニ當リマシテ期限ガ到來シテ返済セヌトキハ、土地其モノヲ渡引ス契約ヲ致シマズレバ直ニ契約ヲ履行センケレバナラヌ、土地ト云フモノハ債務ニ充テタ債權者ニ渡サン

ケレバナラヌト云フコトニナシテ居ルノデアル、議會ハ如何ニ修正ニ相成リマスカ、固ヨリ分ラヌデゴザイマスケレドモ、先づ修正ニナラヌトスレバ斯様ナモノデゴザイマス、故ニ若シモ此日本勸業銀行ニ日本人民ガ土地ヲ抵當ニ入レテ、サウシテ其日本勸業銀行ノ株主、即チ言葉ヲ換ヘテ云フナラバ、日本勸業銀行ノ資本ノ共有者ノ中ニ外國人ガアツタナラバ、其土地ノ流込ニ相成リマシタ場合ハドウデゴザイマセウ、私ガ申スマデモナク、土地ノ流込ト云フコトニ就イテハ、土地ガ流込ンデ直ニソレガ日本勸業銀行ニ渡ルノデ

土地ヲ書換ヘネバナラヌ、即チ土地ガ流レル、サウスレバ外國人ノ代表者タル所ノ日本勸業銀行ノ重役ナリ、或ハ總裁ノ名目ナリニ此土地ガ書換ニナシテシマフ、諸君、日本勸業銀行ナリ、其代表者ナリノ面前デ、土地ガ書換ヘラレテ、其共有者ノ一人ニ外國人ガゴザイマシタナラバ、何故外國人ガ一時日本ノ土地ヲ占有セズ、所有セズト云フコトガ出來マスカ、尤モ一時ニハ相違ナリ、必シモ土地ヲ取ツテ流通資本ト爲スト云フ制度デゴザイマセヌカ

テ、一年カ六箇月デ其土地ヲ轉賣スルデゴザイマセウガ、冕ニ角債務者ノ土地ヲ引上げテ、サウシテ他人ヘ日本勸業銀行ガ賣ルマデノ時間ハ、即チ日本勸業銀行ノ所有デアル、日本勸業銀行ノ所有ナリトシタナラバ、此日本勸業銀行ノ共有者タル者ガ、何故ニ共有權即チ所有權ヲ得ナイノデゴザイマス、大目的ハ他ニ在ルノデゴザイマセウケレドモ、一時デモ其者ノ

名前ニナツナラバ占有者、若クハ所有者ト謂ハナケレバナラヌノデアル、ズ、先ヅ土地ト日本銀行ト外國人トノ關係ヲ見マスレバ、唯今私ガ申シマシタ通デアルガ、諸テ其本案ニ移ッテ之ヲ考ヘテ見マスルニ、私ガ申上げマスモ甚ダ嗚呼ガマシイ事デゴザイマスガ、諸君モ御承知ノ通、無記名債券ト云フモノハ政府委員ノ云フ通、如何ニモ物權デアル、政府委員ノ言フ通一ツノ物ニハ相違ナイ、無記名債券ハ——然レドモ記名債券ト云フモノハ物權デハナイ、是ハ政府委員ガ御存シカ、御存シデナイカ分カラヌガ、昨日ノ御議論ノ有様ヲ以テ見レバ、私ハ御存シナイモノト拜聽シタノデアル、ソコデ是等モノ既ニ既成民法ニモアリ、又修正民法成案ニモ明ニ載ッテ居リマスカラ、諸君ハ固ヨリ御承知ノ事デアル、故ニ第三十五條ノ但書ヲ此儘ニシテ置キマスル以上ハ、政府委員ノ言フ如ク、外國人ヲシテ勸業銀行ノ或ル物ノ所有者ト致シテ居ルノミデハナイ、或ル物ノ所有者デゴザイマセヌデ、即チ債權者デアル、權利者トシテ之ヲ取扱ハシケレバナラヌコトニナルノデゴザイマス、ソコデ權利ト物トノ間ニドウ云フ區別ガアルカト云フ議論ガ起リマスレバ、ソレハ別問題トシテ宜カラウト思ヒマス、免ニ角外國人ニ日本ノ動産ヲ所有セシメナイト云フ理窟ハナイノデゴザイマセウケレドモ、外國人ニ日本ノ權利、日本國民ノ權利ヲ與ヘナケレバナラヌト云フコトハナイト思フ、故ニ文面ノ上カラ考ヘテ見テモ、法條ノ上カラ考ヘテ見テモ、吾々日本國民ハ三千有餘年如何ニ爲シツ、此邦土ヲ維持シ來タカト云フ古イ頭カラ考ヘテ見テモ、ドウシテモ日本國民ノ所有スペキ所ノ債權ヲ、外國人ニ其儘直接ニ與フルト云フコトハ贊成出來ナイ、物トシテ與フルコトハ宜シイ、物トシテ與フルコトハ宣シケレドモ、權利トシテ此日本勸業銀行ノ債券ヲ彼ノ外國人ニ與フルト云フニ至リマシテモ、私ハ宜ク御注意アランコトヲ希望致シマス、固ヨリ太古ノ制ヲ喚ブモノデモゴザイマセヌケレバ、古キ所ノ伊勢ノ神風ヲ喚ブモノデモナイ、我國ノ國權ノ上カラ考ヘテ見、我國ノ習慣ノ上カラ見、又我國ノ將來ノ上ニ鑑ミマスレバ、今日日本勸業銀行ヲ立テ、サウシテ外國人ガ日本臣民ノ權利ニ立入ルノ門戸ヲ開イタナラバ、將來果シテ如何デゴザリマセウカ、大ニ私ハ恐ル、ノデアル、故ニ日本勸業銀行ハ必シモ記名債券トシナケレバナラヌト云フ理由ガナインラバ、矢張無記名債權ト致シタク思フノデアリマス、無記名又ハ財產トシテモ別ニ外交上ニ大ナル差支ヲ生ゼヌト信ジマスルガ故ニ、此第三十五條ハ勸業債券ハ云々無記名利札附トス、斯様ニ修正致シマシテ、但書ヲ削除セントスル動議ヲ提出致シマス

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

〔政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル〕

○政府委員(添田壽一君) 田口君ノ御言葉ヲ質問ト心得マシテゴザイマスカラ申上げテ置キマスガ、田中君ノ御考ヲ煩シタインハ、此公證以外ニ於テ土地ガ非常ナル負債ヲ負フテ居ルト云フ事實デゴザリマス、是ガ計算ヲスル

途ガゴザリマセヌカラ、計算致シマセヌガ、公證ノ手續ヲ經ズシテ、土地ガ非常ノ負擔ヲ致シテ居ルト云フコトヲ御認メヲ願ヒタイ、ソレカラ若シ今日ノ儘デ御止メニナルト云フナラバ、別デアリマス、我國ノ生產モ此儘デ宜シト云フノデゴザイマスレバ、假ニ最前申上げマシタ公證ダケデアルト見テ、ソレデ宣シウゴザイマスケレドモ、是カラ生產ヲ進メルト云フ御希望ガアリマスレバデス、ドウシテモ此公證法以外ニモ尙ホ債券ヲ發行シテ、救濟ノ力ヲ與ヘナケレバナラヌト云フ必要ガ起シテ來ルノデゴザイマスカラ、御質問ト心得テ御答致シマス、ソレカラ草刈君ノ御話モゴザイマシタケレドモ、唯今質問ダケニ止メヨト云フコトデゴザイマスカラ申上げマセヌガ、ソレハ昨日御議了ニ爲シタコト、心得テ居ルノデアル

○議長(楠本正隆君) 免ニ角種々ノ修正説ニ各々定數ノ贊成アリヤ否ヤヲ確定マス、河島君ノ三十四條中「資本金四分ノ一以上」トアルヲ「資本金半額以上」ト改メルト云フ修正案、田口君ノ同條中「十倍」ヲ「三倍」ト改メルト云フ修正案、及草刈君ノ三十五條ノ但書以下ヲ削除スルト云フ意見、何レモ定數ノ贊成ガアリマスカ

〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 田口君ノ修正ニハ定數ノ贊成ガアリマス
○河島醇君(百七十九番) 一寸申上げマス、本員ガ修正ト云フコトハ資本金四分ノ一以上拂込トアルノヲ半額ト云フノデ、田口君ハ債券發行額ヲ三倍ト云フノデ……

○議長(楠本正隆君) 草刈君ノ削除説ニハ定數ノ贊成ガアリマスカ
〔「贊成」ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 鞠モ問題ニ成立致シマシタ

〔政府委員大藏次官法學博士男爵田尻稻次郎君演壇ニ登ル〕

○政府委員(男爵田尻稻次郎君) 屢々諸君ヲ煩シマスガ、先刻ノ田口君ノ計算ニハ餘程間違ガアリマシテ、ドウモ唯ヤツテ置ク譯ニ参リマセヌガ、五年ノ中ニ六億以上ノ公債發行ガ出來ルト仰シヤリマシタガ、左様デハゴザイマセヌ、是カラ募ルノハ公債ヲ一億三千五百万圓、ソレカラ鐵道公債ヲ五百五十万圓バカリ募ラナケレバナラヌ、是ガ重ナルモノデ、其他四百万バカリノ整理公債發行モアリマスケレドモ、是ハ十五銀行ノ借入ヲ償還スルタメノモノデアリマスルカラ、債額ニハ少モ差支ヲ生ジマセヌ、軍事公債ハ殆ド是デヨシマシテ、マダ四百万圓ハ賞與ノタメニ募ラナケレバナラヌト云フコトコトハアリマセヌ、諸君モ御承知アリマセウガ、田口君、一寸申シテ置キ六億ナント云フ巨額ニハナリマセヌカラ……

云フノハ、一億一千五百万圓ハ既ニ募シマツタノデ、ソレカラ事業公債ガ一億三千五百万圓ト云フノハ唯今申シタノデ、其中私ノ申シタノハ二億五千萬圓前ノ債券ガ這入ル、鐵道公債モ六千八百万、ソレダケ入レバ六億以上ニ爲ル

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、二十九條ヨリ三十三條マデハ御動議ナキヲ以テ原案ニ決シマス、三十四條河島君ノ修正說即チ三十四條中「資本金四分ノ一以上」トアルヲ「資本金半額以上」ト改メル修正案ニ就イテ決議ヲ採リマスル、右修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ河島君ノ修正說ハ消滅シマシタ、次ノ同條中「十倍」トアルヲ「三倍」ト改メルト云フ田口君ノ修正案、右ニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ河島君ノ修正說ハ消滅シマシタ、次ノ同條中「十倍」トアルヲ「三倍」ト改メルト云フ田口君ノ修正案、右ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者

少數

○議長(楠本正隆君) 是レ亦少數ト認メマスル、因テ田口君ノ修正說ハ消滅致シマシタ、即チ三十四條原案ハ別段御異議ナシト認メテ決定ヲ報ジマスル、次ハ第三十五條ノ但書ヲ削除スルト云フ草刈君ノ動議——原案ニ就イテ決議ヲ採リマス——三十五條ノ原案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者

多數

○議長(楠本正隆君) 大多數、因テ三十五條ハ原案ノ通決シマス次ハ第三十六條ヲ議題トナシマスル

六條ヲ議題トナシマスル

○井上角五郎君(二百七十六番) 本員ハ先刻一寸申上ゲマシタガ、凡ソ自分ノ議論ニ就イテ其後ニ異論ガ起リ、又ハ反對論が起フタトキニ之ヲ辯明スルト云フコトハ是マデ例ノナイ事デアル、然ルニ田口君ニ限シテハ一度曖昧ナル許方ヲシテ、又ミ御許ニナタ、最早時日モ切迫シテ居リマスル今日、宜シク御注意ヲ願ヒタイ

○議長(楠本正隆君) 御注意ハ心得マスルガ、提出者ハ説明ノタメ其意味ヲ數遍陳述スルコトガ出來マスル、ソレガ即チ百十條ノ規定デアル、併シ御忠告ヲ受ケマス——高木正年君

(高木正年君演壇ニ登ル)

六條ヲ議題トナシマスル

○議長(楠本正隆君) 御注意ハ心得マスルガ、提出者ハ説明ノタメ其意味ヲ數遍陳述スルコトガ出來マスル、ソレガ即チ百十條ノ規定デアル、併シ御忠告ヲ受ケマス——高木正年君

○高木正年君(二百十九番) 此勸業銀行ノ中デ、一番將來ニ能ク考ヘテ置カナケレバナラヌノハ債券其モノ、性質デゴザリマス、勸業銀行ガ曾ツテ是マニデキ所ノ富籤類似ノモノニ爲ルト云フ憂ノアリマスモノハ、即チ債券其物ト、次ニハ債券ニ伴フ所ノ割増金、此二ツノモノガ富籤ニ類スルモノニ爲リマス、ドウ云フ風ニ債券ガ富籤ニナルカト云フト、普通ハ五朱デ發行シ得ベキ債券ヲ、三朱若クハ四朱ニ發行シテ、額面ノ五十圓ナリ、百圓ナリヲ渡スト云フノガ、即チ債券ガ富ニナル性質ヲ持テ居ル、今一ツハ割増金デ、是ハ唯今申ス五朱デ募ルベキモノヲ三朱若クハ四朱ニ募シテ置イテ、其籤ニ當ツタ時二十圓ナリ、若クハ百圓ナリ、若シ極端ニ申セバ十倍若クハ百倍ニ爲

ル、所謂此割増金モ富籤ニ類スルコトハ分ツテ居リマス、一體此勸業銀行ニ就イテ先刻來勸業債券ノ高ニ制限ヲ置イテ、此法律ヨリ以テ少イ制限、或ハ拂込金ノ三倍若クハ五倍ト云フ說ノアルノハ、勸業銀行其モノガ、先刻來屢々金利デ募ラレテ、而モ富籤類似ニナラズニ募ラレルナラ、決シテ經濟社會ハ紊亂ハシマセヌガ、勸業銀行ガ成立シタ以上ハ二割以上ニスルト明言サレマシタガ、此事ハ決シテ當ニハナラナイ、勸業銀行ノ資本ヲ募ル上ニ就イテ政府委員ガ言フ所ノ割増金ヲ極低一度合ニ於テナラ差支ナインデアル、安

キ金利デ募ラレテ、而モ富籤類似ニナラズニ募ラレルナラ、決シテ經濟社會ハ紊亂ハシマセヌガ、勸業銀行ガ成立シタ以上ハ二割以上ニスルト明言サレマシタガ、此事ハ決シテ當ニハナラナイ、勸業銀行ノ資本ヲ募ル上ニ就イテ困ル、同銀行ノ利益ノ上カラ富籤類似ノ上ヲ飛超エテ、殆ド富籤ニ爲シテシマツタ、諸君、縱令割増金ノ三倍デ世ノ中ニ與ヘテ、ソレガ富籤ニナラナケレバ、拂込金ノ十倍一億万圓ヲ募シテモ、經濟社會ヲ害セヌ傾キニナルノデゴザリマス、ソコデ私ノ修正ハ別段變ツタコト入レルノデハナイ、三十六條ノ第二項ニ「日本勸業銀行ニ於テ勸業債券ヲ償還スル場合ニ於テハ割増金ヲ附與スルコトヲ得」ト云フ此間ニ「勸業債券ヲ償還スル場合ニ於テハ」ノ下ニ「額面金額十分ノ一以内ノ割増金ヲ附與スルコトヲ得」ト云フコトヲ、法律ニ確ニ規定シテ置クガ安全デアルト申スノデアル、サウスレバ十分ノ二ヨリ取ラヌカラ富籤ノヤウナ危険ニハナルマイト思ヒマス、此銀行ノ存立期限ハ百年デアリマス、百年以後カラハ添田サンノ言ハレタヤウニシテモ、先ツ斯様ニ定メマシタラ經濟ヲ紊亂スル恐モナカラウト思ヒマスカラ、政府委員ノ言ハレルヤウニ直チニ法律ニ規定シテ、債券ノ割増金ノ超過セザランコトヲ望ムト云フノデアリマス

○議長(楠本正隆君) 「贊成々々」ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 高木正年君ノ修正說、即チ三十六條二項ノ「割増金」トアルヲ「額面金額十分ノ一以内ノ割増金」ト改ムルト云フコトニ定數ノ贊成ガアリマスカ

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ決議ヲ採リマスル——高木正年君ノ修正ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者

少數

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ高木君ノ修正案ハ消滅致シマシタ——御異議ナキヲ以テ第一項ハ原案ノ通ニ決シマシタ、ソレカラ第二項ノ「主務大臣」ヲ「大藏大臣」ト改ムルト云フ委員會ノ修正案

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ御異議ナシト認メマスル、即チ第二項委員會ノ修正通決シマス、是ニ於テ一言ヲ申添ヘテ置キマスガ「主務大臣」ガ「大藏大臣」ト云フコトニ決定致シマスレバ、此以下ハ總て之ニ倣ヒマス、而シテ第八條ニ原案ガ復活シテ「主務大臣」ト云フノガ殘シテ居リマス、是ハ二讀會ニ至テ字句ノ整理ノ時修正スルモノト御承知ヲ請ヒマスル——次ハ三十七條ヨリ四十三條マデヲ議題ト爲シマスル

○河島醇君(百七十九番) 三十七條ニ對シテ修正動議ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 河島醇君

(河島醇君演壇ニ登ル)

○河島醇君(百七十九番) 諸君、本員ガ三十七條ニ對シテ修正ヲ爲サントスル所ノ趣意ハ、昨年來數回提出シタ所ノ彼ノ外國人ノ株券、日本勸業銀行ノ株主タルコトヲ禁ズル、此條項ノ如キハ若クハ役人組織、或ハ十六條ノ規定ニ對スル保證條件ノ如キ、若クハ四分ノ一發行ノ拂込價格ノ如キ、是等ノ如キ重大ナル問題デハナニ、併ナガラ事實ノ上ニ不都合デアルカラ修正致サウト思ヒマス、原案ニ依シテ見レバ第三十七條「日本勸業銀行ハ勸業債券借換ノ爲一時第三十四條ノ制限ニ依ラス低利ノ勸業債券ヲ發行スルコトヲ得」トアル、ソレニ第二項ガ云々ト加シテ居ル、此原案ニ依シテ考ヘテ見、且又政府委員ニ質問ヲ致シテ見ルト、今度市場ノ有様一般金融が緩漫ニナツテ、從テ金利ガ安クナツタ場合ハ、銀行ガ三十四條ノ制限ニ拘ラズ、舊債券ヲ銷却スルタメニ借換ヘルコトヲ許スト云フ規定デアル、如何ニモ便利法ノ如クデアル、併ナガラ是ハ事實ニ於テ行フベカラザルモノデアル、又行ハセテハナラヌノデアル、先キノ抵當ニ不動產ヲ取ル時ハ、其當時ノ經濟上ノ有様ニ應シテ相當ナル所ノ利率ヲ約シタノデアル、從ツテ年賦償還ノ年ヲ極メタノデアル、其契約ニ依シテ抵當ヲ取シタモノニ對シテ、銀行ハ債券ヲ發行シタノデアル、然ルニ市場一般ノ景況ガ昔日ト違ツテ、最早利息ガ安クナツタガタメニ、銀行ガ新ニ債券ヲ發行シテ、ソレニ依シテ舊公債ヲ返サウト云フノデ、舊公債ハ是ニ述べテアル如ク、各年ニ於テ豫約ノ如ク抽籤ヲ以テ之ヲ銷却シ、其抽籤ノ幾分ニ對シテハ割増法、即チ僕倖ナル利益ヲ與ヘヤウト云フノデアル、然ルニ其豫約ノ年限内ニ市場ノ有様、金融緩慢ノタメニ低利ノ金ヲ募集シテ之ヲ返サウト云フノハ、第一ニ既ニ最初ニ發行シタ所ノ債券ヲ所有シテ居ル者ハ、發行シタ當時ヨリモ其債券其モノ、價格ガ増シテ居ルノデアル、價ガ附イテ居ルノデアル、所謂僕倖ナル富ヲ得ル方ガ近クナルガ故ニ、實價ハ既ニ昔日ヨリハ騰ツテ居ルノデアル、ソレガ一ツ、ソレカラ政府委員ハ之ヲ借換ヘル時モ、豫約ノ如ク抽籤法ヲ行フテ、初ニ約シタ如ク割増金ヲ與ヘルト言ハレルガ、是ハ事實ニ於テ出來ナイコトデアル、如何ニ低利ノ金ヲ借リルコトガ出來テモ、一ツ割増金ヲ與ヘテ、其十箇年償還ノモノヲ悉ク割増金ヲ與ヘテ、而シテ銷却スルト云フコトハ、計算ノ上デ出來得ベカラザルコトデアル、其出來得ベカラザルコトヲ法律デ規定スルト云フノハ、是ハ所謂空文ニ屬スルコトデアル、決シテ斯ノ如キ空文ヲ掲グベキモノデハナイ、故ニ此三十七條ニ對シテハ本員ハ茲ニ修正ヲ爲サントスルノ意見デアル「第三十七條日本勸業銀行ハ營業上ノ便宜ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ得テ第三十四條ノ制限ニ依ラス低利ノ銀行債ヲ起スコトヲ得」ト致シテ、主務大臣ト云フノハ、大藏大臣トシタ方ガ宜シト云フナラ大藏大臣デモ宜シ「日本勸業銀行ハ營業上ノ便宜ニ依リ大藏大臣ノ認可ヲ得テ第三十四條ノ制限ニ

依ラス低利ノ銀行債ヲ起スコトヲ得」而シテ第二項ハ削除スル積リデアル、ナゼ斯様ナ事ヲ茲ニ言フカト申セバ、日本ノ例ノ浦島主義ニハ違フカ知ラナイガ、海外各國杯ニ行レル所ノ銀行ニハ二ツノ債券ヲ起ス權利ガアル、一ツハ抵當券ヲ發行スルコトガ出來ル、一ツノ方ハ銀行債ト云フモノヲ起ストガ出來ル、其銀行債ヲ起ス途ガ開ケテナイカラ、市場ノ有様、金利ガ安クナツタ場合ハ――此場合ハ更ニ株券ヲ增加スルヨリハ、銀行ノ信用ヲ以テ依テ不動產ヲ抵當ニ致シテ貸付ヲナスコトガ出來ル、此法ヲ起シテ置クト頗ル便宜デアリ、且ツ又銀行ノ營業ヲ進歩發達セシムルニ利益ノアルモノデアルガ故ニ、特ニ三十七條ニ於テ本員ガ述ベタル如ク、三十四條ノ制限ニ依ラズ、大藏大臣ノ認可ヲ得テ低利ノ銀行債ヲ起スコトヲ得ルト云フ條ヲ設ケテ置イテ、原案ノ三十七條及其第二項ヲ削除スルノ必要ヲ認ムルノデアル、之ヲ削除致サンケレバ到底事實ニ於テ行ヒ難キ所デ、全ク空文ニ屬スルコトデアルガ故ニ、本員ガ修正説ヲ提出スル所以テアリマス、併ナガラ昨日來之ヲ提出シタモノニ比スレバ一部ノ事デアルガ、唯是デハ法文ガ行レナイト云フダケテアリマス、贊否ハ諸君ノ御勝手ニ爲サイ

○議長(楠本正隆君) 河島君ノ修正文ヲ朗讀致サセマス

(町田書記官朗讀)

第三十七條 日本勸業銀行ハ營業上ノ便宜ニ依リ大藏大臣ノ認可ヲ得テ第三十四條ノ制限ニ依ラス低利ノ銀行債ヲ起スコトヲ得」ト修正シ第二項ヲ削除ス

○議長(楠本正隆君) 定數ノ贊成アルヤ如何ヲ確メマス

(「贊成々々」ト呼フ者アリ)

(吉本榮吉君「同ジ人ガ一度贊成ト云フトル」ト呼フ)

(「採決」ト呼フ者アリ)

(「贊成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ定數ノ贊成ニ滿チマシタ――政府委員添田壽一君

(政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル)

○政府委員(添田壽一君) 河島君ノ御言葉ニ依リマスレバ、事實出來ナイト云フヤウデゴザイマスガ、外國ノ例ハ存シマセヌ、又餘リ参考ニ供シタクナイト思フテ居リマスガ、私ノ計算ニ依レバ、此割増金ト云フモノハ、年々ノ収益ト云フモノデ割増金ヲ附ケルダケヲ積シテ置クノデアリマスカラ、事實ノ上ニ於テ出來ナイト云フコトハナイ積デアリマス、又河島君ノ御修正ノ如クナレバ、十倍ノ發行權ノ外ニ如何程デモ發行ヲスルコトガ出來ルヤウニナルヤウデアリマスカラ、サウナレバ田口君モ述ベラレタ懸念モ必ズ生ズル

譯ニアリマスカラ、一寸一言申上げ置キマス
○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、二十七條ニ對スル河島君ノ修正案ニ
同意ノ諸君へ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ河島君ノ修正說ハ消滅致シマシタ——別段
御異議ナキヲ以テ四十三條迄ハ原案ニ決シマス、第七章第四十四條ヨリ第五
十三條マデヲ議題ト爲シマスル
○河島醇君(百七十九番) 五十三條ニ修正ノ意見ガゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 河島醇君

河島醇君演壇ニ登ル

○河島醇君(百七十九番) 諸君、日本勸業銀行ハ御承知ノ如ク特別ナル所ノ
権利ト、特別ナル所ノ保護ヲ與ヘ、一種特別ナル所ノ銀行デアル、ソレ故ニ
政府ハ之ニ對シテ十分ナル所ノ監督權ヲ有サナケレバナラヌ、從來日本銀行
ノ如キ政府ノ監督ノ下ニ立ッテ、或ハ監理官ト云フモノガ命ジテアツテ、是
ガ即チ日本銀行ノ業務其他一切ノ事ヲ監理スルコトニナツテ居ル、其監理官
ガアルガ故ニ、主務大臣ハ從ツテ銀行諸般ノ事ヲ審ニスルコトガ出來ル、即
チ其仕事ヲ爲スガタメニ監理官ガ置イテアル、所ガ、日本勸業銀行ニ向ツテ
モ矢張所謂名ハ達ヒマスガ、監理官ト云フモノヲ置クコトニ爲ツテ居リマス、
名ハ達フガ其仕事ハ同ジ事デアル、所ガ、日本銀行ハ第一中央營業部ノ機
關デアル、即チ經濟社會ノ中央機關デ、特ニ附與シテアルモノハ國家ノ大
權ニ屬スル紙幣發行ノ權利、及出納ノ事、是ハ大藏省ノ直轄ニ屬スル事デアル、
アル紙幣發行ノ權利、及出納ノ事、是ハ大藏省ノ直轄トシテ適當デアルガ、此勸業銀行普
又一般銀行社會ノ事モ大藏ノ直轄トシテ適當デアルガ、此勸業銀行ノ銀行普
通ノ業務ハ、誰ガ主務大臣デアルカト云フト、大藏大臣デ宜シ、併ナガラ此
銀行ノ作業上其目的ニ就イテ見タラ、却テ大藏大臣ヨリモ農商務大臣、又ハ
内務大臣ノ職掌ニ屬スルコトガ、或ハ公共團體、特ニ府縣郡等ニ貸付ル所ノ
彼ノ大ナル所ノ事業、即チ土木事業ノ如キ、築港ノ如キ、河川修繕ノ如キ、
排水工事ノ如キ、斯ノ如キ大事業ニ向ツテ貸付ケル場合ニハ、其所轄ハ内務
省ニ屬スルコトデアル、一般商業ノ發達ヲ圖ルタメニ爲ス事ハ、是ハ其所轄ガ
農商務省ニ屬スル、シテ見レバ此銀行ノ勵ハ農商務、内務ニ屬スベキモノデ
アツテ、銀行業務、金ノ総合、債券ノ發行、其點ハ大藏ニ屬スル、然ルニ此
法案デ見ルト監理官ノ定數ガナイ、是ハ日本銀行ノ例ニ倣ヘバ、矢張一名ノ
監理官ヲ置イテ、即チ大藏大臣ノ管下ニ置クト云フコトニ爲ツテ居ルト思ヒ
マス、故ニ本員ハ第五十三條「主務大臣ハ特ニ日本勸業銀行監理官若干名ヲ置
ク」「若干名」ト云フ字ヲ此處ニ入レタゞ、ソレハ一ハ大藏大臣ノ直轄ニ、
即チ大藏省ノ官吏ヲ以テ之ヲ任命シ、一ハ内務大臣ノ下ニ内務省ノ官吏ヲ任
命シ、一ハ農商務省ノ官吏ヲ以テ之ヲ任命スル、サウシタナラバ則チ銀行ノ
業務ヨリシテ、其目的トスル所ノ農工業ノ發達進歩ヲ圖ルニ適當デアル、政

府ガ特權ヲ與ヘタ監督上ニ於テ最モ至當デアラウト思ヒマスガ故ニ此「若干
名」ト云フ字ヲ加ヘタイト云フ積デアリマス、シテ議會ノ有様ヲ以テ見マス
ニ、此貴重ナル法案モ到底修正モ加ヘルコトモ能ハズ、其儘通過スル今日衆
議院ノ現狀デアル、果シテ是ガ完全ナル案デアルカト云ヘバ、必要ナルコト
ハ勿論ナ事デアルガ、此法文ノ上ニ於テハ實施シ難イコト澤山アルノミナ
ラズ、大ニ之ニ向ツテ危害ガアル、將來如何ナ變動ヲ來スカ、日本ノ今後ノ
國家經濟ノ上ニ於テ、吾々ノ注意ヲ致サナケレバナラヌ點ガアル、然ルニ責
任上ニ於テ大藏大臣、所謂一年カ二年カハ其職ニ在ツテ責任ヲ持ツコトデア
リマセウ、又吾々議員モ一期二期位ハ責任ヲ持ツテアリマセウガ、併ナガラ
此案ハ何處マデモ行ル、モノデ、五十箇年、百箇年ト云フ年限デアル、此
仕事ハドレダケノ仕事ヲスルカト云ヘバ、三十年、五十年ヲ以テ、或ハ貴重
ナル所ノ不動産ヲ抵當トシテ、サウシテ須要ナル所ノ目的ニ使用スルノガ此
銀行ノ特色デアル、シテ見レバ少シデモ完全ナル法律ガ万一一モ通過ヲ致シ
テ、是ガ實施セラレタナラバ、啻ニ將來ニ汚點ヲ殘スノミナラズ、憲法史上
ニ於テ獨リ此衆議院ガ其責任ヲ負ハナケレバナラヌト思フ、實ニ今年ノ議會
ノ如キ議會ノ有様ヲ以テ見レバ、吾々今日其職責ヲ盡ス上ニ於テ、衆議院ノ
體面上甚ダ耻ヅル事デアラウト思ヒマス
○議長(楠本正隆君) 河島醇君ノ修正、五十三條ニ「若干名」ト云フ三字ヲ挿
入スルコトハ定數ノ賛成ハアリマセヌカ
〔賛成々々ト呼フ者アリ〕
○議長(楠本正隆君) 定數ノ賛成ガアリマセヌ、問題トシテ成立チマセヌ、是
就イテハ四十四條ヨリ五十三條マデ「主務大臣」トアルハ、前ニモ述ベマシタ
通リ前ノ決議ノ自然ノ結果修正セラル、モノデアルニ依ツテ決議ヲ要シマセ
ヌ、即チ四十四條ヨリ五十三條マデハ御異議ナキヲ以テ委員會ノ修正案ノ通
決定致シマス

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 次ハ五十四條及五十五條ヲ以テ議題ト爲シマスル、是
ニハ修正ガアリマセヌ、因テ別段御異議ナケレバ原案ノ通決シマス、次ハ第八
章第五十六條ヲ議題ト爲シマス、委員會ノ修正案ニハ御異議ナイト認メマス、
因テ委員會ノ修正案ハ可決シ、其他ハ原案通決シマス、次ハ第五十七條及第
五十八條ヲ併セテ議題ト爲シマス

○草刈親明君(二百三十二番) 第五十八條ニ就イテ少シ……是ハ満場諸君ニ
於テ宜シク御聽取リヲ願ヒマス、第五十八條ハ罰則ニ關スル裁判ノ方法デア
ル、即チ五十八條ニ依レバ五十六條ニ依ツテ定マッテ居ル所ノモノハ五十六條
ノ第一項、乃至第五十六條ノ第七項ニ關スル罰ヲ犯シタ際ニハ、其總裁ナリ、

副總裁ナリヲ如何ナ方法手段ヲ以テ裁判スルカ、又其裁判ニ就イテハ事犯者ハ如何ナル方法ヲ以テ是ニ應ズルコトヲ爲スカト云フノ定デゴザイマス、然ルニ此五十八條ニ依ッテ見マスレバ、過料ト云フモノハ裁判所ノ命令ヲ以テ之ヲ定ムトアル、抑、命令ナルモノハ被告人ヲ呼出スコトガ——裁判所ガ告訴人ノ書類ニ依ッテ直チニ一ノ裁判ヲ爲ス事がゴザイマス、即チ委シク之ヲ申セバ、命令ト云フモノハ、被告人ノ陳述ヲ聽カズシテサウシテ其者ニ罪アルヤ否ヤト云フコトヲ定ムルコトニ爲ルノデゴザイマス、今日ノ進歩シタ時勢ニ於テ、新シタ法律ヲ施行ルト云フ場合ニ於テ、斯ノ如ク裁判官ニ非常ナル權利ヲ與ヘルト云フコトハ、誠ニ喜バシクナイコトデアルノミナラズ、凡ソ裁判ナルモノハ狀況ニ依ッテ多クハ心證ヲ得ルモノデアル、故ニ對審ノヲ生ズルコトガアル、是ハ私が申シマセヌデモ、御經驗ノアル方ニハ能ク御承知ノ事ト信ズル、然ルニ本問題ノ如キハ、例ヘバ斯ウ云フ罪ヲ犯シタ者ハ百圓ノ罰金ニ處ス、五十圓ノ過料ニ處スト云フガ如キ、其罰金過料ノ額ト犯罪ノ種類ヲ規定シ居タルモノナラバ、或ハ命令ニ依ッテ之ヲ科スルモ不都合デナイカモ知レマセヌケレドモ、本問題ノ如ク、例ヘバ百圓ヨリ千圓ノ範圍内ニ於テ同一事犯ニ就イテ制裁ヲ加ヘルト云フノデアル、サレバ同ジ罪ヲ犯シマシテモ、其狀況ニ依ッテ大ニ斟酌セナケレバナラヌト云フ事柄ガアル、而シテ其狀況ヲ斟酌スルト云フ事柄ハ、被告人ノ意見ヲ聽カナケレバ分ラヌ事デアル、然ルニ斯ノ如キ重大ナル、斯ノ如キ事實上ニ親密ナル關係ヲ持ツテ居ルニモ拘ラズ、此法條ニ限リ命令ヲ以テ百圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス過料ニ處スト云フ如キハ、誠ニ非立憲的ノ法條ト思フノデアル、然ルニ此五十八條ニモ明記致シテアリマスル通り、若モ其事犯者ガ即チ被告人ガ其命令ニ服セヌトキハドウスルカト云フニ、抗告セヨト云フノデアル、十四日以内ニ抗告セヨト云フノデアル、諸君、抗告ト云フモノハドウ云フモノデアルカ、即チ上級裁判所ニ對シテ之ヲ爲サナケレバナラヌノデアル、區裁判所ニ判決ヲ受ケ、即チ命令ヲ受ケタ以上ハ、命令ニ依ッテ罰金百圓ノ刑ヲ受ケタ以上ハ、其者八十餘里ノ遠方ニ在ル地方裁判所ニ往ッテ抗告ヲシナケレバナラヌト云フコトニナル、即チ自分ノ村ニデ自分ノ利益ナル證據ヲ舉ゲ、自分ノ利益ナル辯解ヲ爲シタナラバ、速ニ無罪ニナルベキモノガ、其被告人ガ十里二十里ノ遠方ニ在ル上級裁判所ニ依ッテ裁判ヲ受ケナケレバナラヌト云フコトニナルノミナラズ、國資ノ點カラ見テモ、單獨判事デ結了スベキモノヲ、事犯人ノ抗告ニ依ッテ三人五人ノ裁判官ガ長イ時間ヲ費シ詰ラヌ所ノ判決ヲシナケレバナラヌト云フヤウナ事がアル、デ、此條項ノ如キハ最モ其當ヲ得ナイモノト考ヘマスルガ故ニ、五十八條ハ削除センコトヲ希望シマス、削除スルコトヲ希望スレバ、矢張民法修正案ニゴザイマスル第八十四條ノ罰則ノ如ク、單ニ斯ノ如キ事ヲ爲シタトキニハ、何程ノ過料ニ處セラル、トモナインデゴザイマスルガ故ニ、其裁判權ハ通常ノ裁判權ニ移ル、即チ民法ノ第

八十四條ニ「法人ノ理事、監事又ハ清算人ハ左ノ場合ニ於テハ五圓以上貳百圓以下ノ過料ニ處セラル」ト斯様ニ書イテアルノデゴザイマスルガ故ニ、此法文ニ依ッテ矢張勸業銀行法ノ五十八條ト云フモノヲ削除致シマシタナラバ、即チ五十六條ニ依ッテ、十分ナル法律ノ運用ヲ爲スコトが出來ルダラウト思ヒマス、満場ノ諸君、願クハ御贊成アランコトヲ希望シマス、是等ノ事ニ御贊成ニナリマシテモ、別ニ黨議ニ背クナンノト云フコトハ無イと思ヒマス

〔議長々々ト呼フ者多シ〕

○議長(楠本正隆君) 是ハ通告ガアリマス

○木村格之輔君(三十二番) 私ガ通告シテ置キマシタノハ、草刈君ガ提出シマシタ削除説デアリマス、別ニ反対ノ御議論ガナケレバ私ハ申シマセヌ

○門脇重雄君(百五十八番) 此五十七條デアリマスガ、是ニ對シテハ委員會ノ修正ガアリマス、然ルニ此委員會ノ修正ノ結果ガ能クナイト考ヘル、其修正文ニ「貳拾圓以上貳百圓以下ノ過料ニ處セラル」トアル「處セラル」ト云フコトハ甚ダ宜クナイ「過料ニ處ス」斯様ニ修正シタイ

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 然ラバ決議ヲ採リマスル、門脇君ノ修正「過料ニ處セラル」ヲ「處ス」ト改メルコトニ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ門脇君ノ修正案通ニ決シマスル、次ハ五十八條、委員會ノ修正案ニハ反対ガアリマスルニ依ッテ、決議ヲ採リマスル、委員會ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ委員會ノ修正通決シマシタ、次ハ五十九條ヨリ六十二條迄、是ハ原案ニ御異議ナシト認メマス、即チ原案ノ通決シマス、次ハ六十三條、六十四條是等ハ前ノ決議ノ結果デ當然原案ニ決シ御異議ナイト認メマス

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 然ラバ原案通決シマス

○吉本榮吉君(八十二番) 直ニ三讀會ヲ開カントコトヲ望ミマス

○工藤行幹君(百十番) 是ニ直チニ三讀會ヲ開クト云フ說ガアッタヤウデアリマスガ、此何ハ皆農工銀行ニモ農工補助法案ニモ、連絡シテ居ルノデゴザイマスカラ、コシチバカリヤクタ所ガ、萬一此後トニ惡ルイ所ガ出來タ時困リマスカラ、三ツ議シテカラデナケレバ、甚ダ前後矛盾シタモノガ出來テ來ヤウカト思ヒマス

ニ修正ヲ加ヘルト云フヤウナコトガ出テ來ヤウト思ヒマス
○議長(楠本正隆君) 是ハ重要ノ問題デアリマスルケレドモ、此切迫ニ際シ
タ場合ニアリマスルカラ、異議ガナケレバ
○工藤行幹君(百十番) 異議ガアリマス、到底爲シ能ハザルモノニアリマス
○議長(楠本正隆君) 然ラバ決ヲ採リマスル、吉本君ノ動議、即チ直チニ三
讀會ヲ開クコトニ同意ノ諸君ハ起立

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ直チニ三讀會ヲ開キマス
○起立者 多數

日本勸業銀行法案(政府提出)

第三讀會

○草刈親明君(二百三十二番) 此第十二條ニ「法律上ノ代理人」トアルノヲ
「法定代理人」ト直シタク、理窟ハ言ハナイ、民法ニモ「法律上ノ代理人」ハ
「法定代理人」トナラテ居ル

○吉本榮吉君(八十二番) 第八條ノ「主務大臣」ヲ「大藏大臣」ト直スコトニシ
タイ

(「贊成」ト呼フ者アリ)

○田口卯吉君(一百六十九番) 本員ハ此案ノ全廢ヲ主張致シマス、別ニ長イ
コトハ申シマセヌガ、此案ノタメニ一億圓ノ資金ヲ日本社會ヨリ取去ルコト
ハ、經濟上有害ナリト信ズル者デアル、二讀會ニ諸君ノ御論ノアリマシタ如
ク、外國人ガ此會社——特許會社ノ株主ト爲ルコトハ本員等ハ望ミマセヌ、
本員等ハ外資輸入ヲ恐ル、モノデナイ、併ナガラ特別ノ特典ヲ與フルモノニ
就イテハ、日本國民ハ日本國民ニ許スコトノ全權ヲ以テ居ル、現ニ航海獎勵
案ノ如キモ、日本人民ガ組立シテ居ル會社ニ向クテ獎勵金ヲ與ヘアル、外
國人ノ會社——株主ト爲フタ會社ニハ獎勵金ヲ與ヘヌ、是ハ現ニ遞信省が出
シテ、諸君ガ決議シテ、先達テ決議セラレタ獎勵案スラスノ如シダ、遞信省
ハ隨分對外硬ノ意見ヲ持シテ居ルモノト信ズル、然ルニ此勸業銀行ニ於テハ
ソレトマルデ違ッテ、外國人モ此債券ヲ買フト云フヤウナ事ノ出來ル如クニ
對外軟ノ主義ヲ持ツテ居ルノハ、本員等殊ニ不滿足ニ思ヒマス、是等ノ點ハ
諸君、必シモ忽卒ニスル必要ハナイ、十分ニ熟慮セラレテ然ルベシト存ジマ
スカラ、本員ハ本年ニ於テ此案ノ廢棄ニ爲ランコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 先づ草刈親明君ガ「法律上ノ代理人」トアルノヲ「法定
代理人」ト改メタイト申ス意見……
(「贊成」ト呼フ者アリ)

○谷澤龍藏君(百六十一番) 本員モ贊成シマス、是ハ詰リ民法デモナンデモ
將來定マル所ノ事柄ニアリマシテ、總テ「法定代理人」ト云フ熟語ヲ附スルノ
デゴザイマス、サウシマスルト法律上ノ代理人ト、法定代理人ト違フ、故ニ

之ヲ「法定代理人」ト直スト云フコトデアリマスルガ、本員モ熟語デアリマス
カラ「法定代理人」トスルガ宜カラウト思フ、本員ハ尤モ此勸業銀行、農工銀行
トモ大抵原案ニ同意スルモノニアリマスガ、是等ノ文章ハ少モ關係ナキモノ
デ、唯熟語ヲ正シクスルダケノ事デアリマス、故ニ本員モ是ニ贊成致シマス
○議長(楠本正隆君) 星亨君ニ一ツ御協議致シマスガ、委員長トシテ御調查
ニナラテ居ル民法修正案ノ中ニハ「法定代理人」ト爲フテ居リマスルカ
○星亨君(八番) 「法定」ト云フテ居リマス、併ナガラ同ジコトデアッテ、別
ニ意味ハ變ラヌト思フ

○議長(楠本正隆君) 贊成ガアレバ決議ヲ採リマス

○草刈親明君(二百三十二番) 星君ハ意地ガ惡ルイ、明ニ「法定」ト云フ字ニ
爲シテアル

○星亨君(八番) ワレダカラ、爲シテ居ルト言シ

○草刈親明君(二百三十二番) 君モ御贊成ニ爲シテ居ルデハナイカ、餘リサ
ウ意地ヲ惡ルクシタマフナ

○星亨君(八番) ソレデハ明ニ申シマセウ、民法ニハ「法定代理人」ト爲シテ
居ルニ相違ナシ、併シ私ノ意見ヲ申スナラバ、孰モ同ジ事デアルカラ、ドチラ
デモ宜シイ

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 定數ノ贊成ガゴザイマスカラ、決議ヲ採リマス「法定
代理人」トスル……

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)
○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ「法定代理人」トスルコト
ニ決シマス、ワレヨリ八條ノ「主務大臣」ハ「大藏大臣」ト相成リマス、是ハ前
ニモ述ベマシタ通リ先ノ修正ノ結果デ、別ニ御異議ナシト認メマス、而シテ
此條項ノ繰上げ等ノ事、其他字句ノ事ハ此整理ヲ議長ニ一任せラル、ヤウニ
望ミマス——此ニ於テ確定ノ決議ヲ採リマスル

○議長(楠本正隆君) 該案全部ニ同意ノ諸君ハ起立
○議長(楠本正隆君) 多數
(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 大多數、因テ該案ノ確定ヲ報ジマスル、次ハ日程ノ第
二、農工銀行法案

○河島醇君(百七十九番) 本員ハ農工銀行……
○議長(楠本正隆君) 一寸御待チナサイ……二讀會ヲ開キマス、凡テ朗讀ハ
省略シマス、第一條ヨリ第三條マヂヲ議題ト致シマス——河島醇君

第二 農工銀行法案(政府提出)

第二讀會

(河島醇君演壇ニ登ル)
○河島醇君(百七十九番) 本員ハ此農工銀行法案ノ表題ノ上ニ唯一字ヲ改メ
タイト云フ修正意見デアル、「農工」トアルノヲ「農業銀行法案」ト致シタイ、

「工」の字ヲ削除致シタイント云フ所ノ意見デアル、抑農工ト云フ意味ハ餘程範圍ノ廣イモノニアツテ、農業發達ノタメニハ不動産ヲ抵當ト致シテ、永年賦償還貸付ヲ爲スト云フコトハ、海外各國ニハ餘程類例モ多イ事デゴザイマスルガ、我本邦ニ於テハ此法案ヲ以テ必要ト致スノアリマス、而シテ我邦國ニ於テ農工共ニ其改良發達ノ必要アルト云フコトハ、茲ニ本員ガ特ニ述ブルノ必要モゴザイマセヌガ、唯此銀行ノ性質上、所謂不動產抵當銀行ノ本領ト致シテ、工業ノタメニ資本ヲ下ロストキハ斯ノ如キ永年賦貸付ヲ致ス方ガ事體ニ於テ適當デアラウト思フノデアル、ソレニ反シテ農業ノタメニ斯ノ如キ資本ヲ抵當トスルトキハ、必ズ永年賦デナケレバナラヌノデアル、故ニ是ハ農業經濟上ノ機關ト致シテ、特ニ土地抵當銀行ノ本領ニ依ツテ、永年賦貸付ヲ致ス方ガ事體ニ於テ適當デアラウト思フノデアル、併ナガラ農業經濟上ノ機關ト致シ、農產物ノ發達ノタメニ貸付ヲ爲スニ就イテモ、其範圍ト云フモノハ最モ廣イモノデアル、第一農業上ノ發達ニ關シテハ、其改良進歩ヲ圖ルベキモノハ總テノ穀物ノ改良ハ固ヨリ、麻ニ、甘藷ニ、綿ニ、牧畜ニ、製茶ニ、製絲ニ、是々ト云フモノハ悉ク農業經濟ニ關聯ヲ致シタモノノデアツテ、即チ農產物デアル、其農業家ガ自分ノ土地ニ作ツタモノヲ直チニソレヲ製造シテ稼グ、所謂は海外各國杯ニ於キマシテハ農業的工業ト唱ヘルモノノデアル、其農業的工業ノ發達ト共ニ資本ヲ下ロスト云フノハ、取りモ直サズ農業經濟ノ進歩發達ヲ圖ルノデゴザイマスルガ、餘程極適當デゴザイマスルケレドモ、若シ農業ト云フモノ、範圍ヲ外シテ、單ニ工業ト云フコトニシテ農工ノ工ヲ即チ獨立ノモノト解釋シテ、工業ノタメニモ農業ト同様ノ貸付ヲ爲スモノト致シタナラバ、或ハ此範圍ト云フモノハ極廣漠ナルモノニ爲シテ、從ツテ此銀行ノ整理上、銀行業務ノ發達上、必ズ複雜ヲ來シ、必ズ是ニハ危害ガ生ズルデアラウト云フコトヲ本員ハ認ムルノデアリマス、ソレ故ニ是ハ單ニ農業經濟ノ機關ト致シテ、農業銀行ト致シタインガ、本員ガ是ニ對スル修正ノ意見デアル、又是ニ工業ヲ加ヘテ見マシタナラバ、其變動ト云フモノハ殊ニ甚シイノデアル、農業ノ變動ハ米穀ノ暴落ノタメニ、或ハ米價ノ高低ノタメニ、幾分カ變動ハ免レスコトデゴザイマスガ、ソレヨリモ工業ニ至ツテハ特ニ影響ガ甚シイノデアル、第一金銀ノ差、即チ金ト銀トノ高低ニ依ツテ工業ニ最モ直接ナル所ノ影響ヲ蒙ルノデアル、ソレカラ一般海外市場ノ有様、彼ノ生産事業ノ發達ヲ致シタ所ノ歐米各國等、此工業上ニ於テハ必ズ競爭ヲ爲サナクテハナラナイト云フコトモ起りリマセウ、此競爭上ニ就イテモ大ニ我工業ノ進歩發達ニ影響ヲ及スコトデゴザイマスルガ故ニ、農業ニ加フルニ工業ヲ以テ致シタナラバ、實ニ此銀行ト云フ上ニ就イテ、將來ノ發達上大ニ其確實ヲ観クト云フコトガ起ルデアラウト思フ、又今日ノ日本ノ制度ニ致シテ、是ハ寧ロ農業經濟上ノ機關ト致シテ、唯農業ニ屬スル所ノ農業的工業ダケノ意味ヲ加ヘテ置クノガ、最モ適當デアラウト思フコトノ意見デアリマス、抑工業ト云フモノハ一體商業ト關聯ヲ致シタモノノデゴザイマスルガ故ニ、商

工ト云フモノハ、既ニ今日ハ殆ド同一ノ目的ニ依ツテ成立チ、殆ド同一ノ方法ニ依ツテ金融ノ運轉ト云フモノガ附イテ居ルノデアル、即チ中央地方ニ在ル所ノ各銀行ノ資本ハ、決シテ商業家ノミニ下ロシテハナイ、矢張工業家ニモ是ヲ投下スルノデゴザイマスルガ故ニ、工ハ農ニ屬スルヨリモ寧ロ工ニ屬スル方ガ適當デアル、且ツ又今日ノ事態ハ工ト合シテ廣漠ナル所ノ範圍ニ於テ此法律ヲ實施スルト云フコトハ危險ナ方デゴザイマスガ故ニ、本員ハ將來我國ノ農業發達ノタメ、且ツ此特別ナル所ノ保護アル銀行ノ確實ト鞏固ヲ期センガタメニ、此農工銀行ノ「工」の字ヲ削除致シテ之ヲ「農業銀行」ト修正セントスル所ノ意見デゴザイマス、願ハクハ諸君虛心平氣、國家將來ノ經濟上ノ有様ヲ御觀察ニナシテ、宜シク本員ノ修正ニ賛成アラシコトヲ希望シマス〇喜多川孝經君(百六番)私ハ此場合ニ、一寸政府委員ニ質問ガ致シタノ事ジマス、ソレハ唯今モ河島君ノ御論ノアリマシタ通、農ト工トハ自カラ金ノ需要ニ繁縝ガゴザルト思フノデアル、然ルニ若シ地方々々ニ依リマシテ、或ハ時トシテ非常ニ工業ニ金ヲ要シテ、農業ノ方ニ貸スコトガ出來ナイヤウナ事ガ起ルコトガナイトハ限ラヌト思フ、其時ニハ此銀行ハ豫メ農ニハ幾ラ貸ス、工ニハ幾ラ貸スト、斯ウ云フヤウニシテ定メテ置クコトガ出來マスル御考デゴザイマスルカ、或ハ又金ノ需要ニ從ツテ、サウ云フコトヲ分別ナクドシく農デモ工デモ、ドチラデモ唯金ノ需要ニ從ツテ貸スト云フコトデアリマスガ、其邊ヲ一應政府委員ノ御考ヲ伺シテ置キタイ

○星亨君(八番)今日モ民法ノ修正委員會ヲ是ヨリ開キマス

○議長(楠木正隆君)本日モ民法修正案ノ委員會ヲ開キマスニ依ツテ、該委員長ヨリ退席ノ請求ガアリマス、承認ヲ請ヒマスル

(異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ)

(政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル)

○政府委員(添田壽一君)喜多川君ニ御答致シマスルガ、此銀行ハ所謂農業ノ改良發達ノタメニ設立スルモノデゴザイマスルカラ、成ルベク希望ヲ申シマスレバ、農業ニモ工業ニモ、萬遍ナク力ヲ注グヤウニシタイント云フ考デゴザイマス、若シ或ハ單ニ工業バカリニ走ルト云フ場合ガゴザリマシタナラバ、既ニ此原案ノ第四十條ニ規定ガアリマシテ、貸付割引ノ金額及其方法ヲ制限スルノ權ヲ、主務大臣ガ持ツテ居リマスルガ故ニ、甚シキニ至レバ多少ノ監督權ヲ用ヰル場合ガアラウト思フノデゴザイマス

○議長(楠木正隆君)馬匹調査委員會ヲ開キマスニ依ツテ、退席ノ請求ガアリマスル、御承認ヲ請受ケマスル、諸テ河島君ノ修正案、即チ本案ノ表題ヲ「農業銀行法案」ト改メタイト云フコトニ賛成ガアリマスルカ

(賛成々々ノ聲起ル)

○議長(楠木正隆君)決議ヲ採リマス、河島君ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立者少數

三條マテハ他ニ御動議ナキヲ以テ原案ニ決シマスル、第四條、第五條ヲ議題ト爲シマスル——工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○(工藤行幹君) (百十番) 私ハ此第四條ヲ復活セシメタイト云フ意見デゴザイマス、併シ其復活セシムルニハ少シクソニ文字ノ修正ヲシナクテハナラナリ、ソレハ後ト御話致シマスルガ、先ヅ以テ此復活スル所以ヲ一應御話致シタイト思フノデゴザイ、此農工銀行法案ニ就キマシテハ、私モ特別委員ニ指定セラレマシテ、此第四條ノ審議ニ至ルマデハ、私モ其席ニ到テ居リマシタガ、其後事故アツテ私ハ辭シマシタカラシテ、其後トノ事ハ存シマセヌケレドモ、此事ヲ議シタ時マテハ其席ニ到テ居リマンタ、而シテ其當時ノ實況ヲ御話スルト、此第四條ヲ削除スルト云フノハ、即チ立石君ノ御論デゴザイマス、立石君ノ御議論デゴザイマシテ、而シテ其理由トスル所ガドウ云フ譯デ之ヲ削除スルカト云ヘバ、各府縣ニ一箇所宛、或ハ二箇所置クトモゴザイマスケレドモ、先づ大體一箇所置クモノト見ナクチャナラヌ、然ルニ此一箇所置クニ就イテ十人以上ノ發起者ヲ定ムルト云フ場合デハ、或ハ競争ハ起リハシナイカ知ラヌト云フ懸念デゴザリマス、コチラノ方ノ一組ガラモ之ヲ發起人ニ爲テ出願スル、又一方ノ外カラモ出願スルト云フヤウナ自然競争ガ起リハシナイカ知ラヌ、故ニ之ヲ削除シテ、其後トハソレジャドウスルカト云ヘバ、即チ此未項ニ至シテ、此發起人ハ第四十八條、四十九條五十條ヲ以テソレヲ補フ、此四十八條カラ五十條マテノ意味ヲ云ヘバ、諸君等ノ御手許ニアルカラ御覽ノ通、府縣知事ハ此發起人ヲ指定シテ、サウシテ其發起人ハ或ハ定期ヲ作リ、或ハ株金ヲ募集シ、スカカリ會社ヲ成立タセテシマッテ、然ル後ニ此發起人カラ此會社ノ頭取ナリ、副頭取ナリニ讓ルト云フ譯デゴザイマス、偕テ諸君、凡ソ是マデノ諸會社ノ實況ニ照シマシテ見ルト云フト、此發起人ト云フモノハ、多クハ會社設立ノ後、必ず頭取トカ、副頭取トカ、其他重役ニ爲ルト云フコトハ當リ前ノ事デゴザリマス、マア發起人ニ爲テソレ切リ後トハ打遣ヲテ置クト云フコトハナイ、自然其人ハ勞モアリ、功モアル者デゴザリマスン、勿論人望モアリ、金モアルカラ發起人ニ爲ル人デゴザリマスカラ、大抵發起人が其銀行ナリ會社ナリノ重役ニナルト云フコトハ當リ前ノ事デアル、若シ此修正ノ如クシタナラバ、或ハ各府縣ニ設置スル所ノ農工銀行ト云フモノハ、恐らくハ皆地方ノ縣令、イヤ、知事ノ定メタ所ノ者ガ悉ク今ノ頭取以下ノ重役ニ爲ルト云フコトハ、自然ノ結果サウナルデアラウト思フデゴザリマス、若シ果シテサウ云フヤウナ事デゴザリマスルト云フト、此農工銀行ト云フモノハ即チ行政官ノ機關ニ爲ルト云フヤウナコトニ爲リマセウ、故ニ委員會ニ於テモ種々討論ノ末、委員會ガ其當時ノ多數ヲ以テ此立石君ノ修正說ヲ否決シタノデゴザリマス、而シテ本文ノ方ニ決シタノデゴザリマス、所ガ、其後私共ハ事故アツテ出席致シセヌデシタル、ドウ云フ譯デアツタカ、其方ニ同意ノ諸君ガ多イト見エテ、終ニ再ビ

逐條審議ノ時ニ是ハ否決セラレタノデアルガ、確定議ノ時ニ至シテ一寸復タ之ヲ引継返シテシマッタ云フコトデゴザリマス、ソコデ私ガ此立石君ノ修整ノ案ニ大ニ茲ニ諸君等ニ私ノ意見ヲ御話セネバナラヌ、併シ此立石君ノ修正案ト云フモノハ、恐ラクハ立石君御一個ノデハアルマイト思ヒマス、即チ立石君ノ屬スル所ノ自由黨ノ黨議ヲ以テ出サレタモノト思フ、其譯ハ前以テ立石君カラ此農工銀行ナリ、勸業銀行ニ關係スル所ノ修正案ト云フモノハ、始カラ末マデチャント是ハ書イテ御提出ニ爲シタノデゴザリマスカラシテ、大抵サウ云フ御手順ト私ハ推測スルノデゴザリマス、然ルニ抑々立石君ノ所屬ノ自由黨ガ曾テ唱フル所ノモノハ、成ルタケ分權シ、成ルタケ民權ヲ擴張シ、成丈公平ナモノヲ以テ此世ノ中ト云フモノヲ料理ヲシナケレバナラヌト云フコトハ、個人主義ト云ヒ、自由主義ト云ヒ、分權主義ト云ヒ、成ルタケ行政官ノ抑制ヲ受ケナイヤウニシテヤルト云フコトニ外ナラヌノデゴザリマセウ、然ルニ斯ノ如キ自由民權ヲ重ンズル黨ニシテ、此農工銀行ヲ各縣ニ悉く設立スルモノヲ舉ゲテ、此行政官ノ機關ニ供ヘルト云フコトハ、實ニ奇々怪々ノ事ト私ハ謂ハザルヲ得ヌノデゴザリマス、抑々此銀行トカ營利會社ト云フモノハ競争ノアルコトガ當リ前ノ事デアル、競争ガアツタナラバ即チ其時ニ地方縣知事ナリ、或ハ主務大臣ナリガ相當ノ處分ヲシナケレバナラヌコトハ當リ前デアル、然ルニ若ヤ競争ガ起シヤナラヌト言フテ之ヲ悉ク地方ノ縣知事ニ指定サセルト云フコトハ何ノ事デアルカ、果シテ其論議者ノ言フガ如クナラバ、或ハドヨニ鐵道ヲ起スト云フトキニ競争ガ起ル、競争ガ起ルカラ是ハモウ發起人ニヤラセナイデ、ドシシテ地方ノ縣知事が指定シテヤタナラバ宜カラウト云フ結果ニ爲ルデアラウ、又鐵道バカリデナイ、其他ニモ商業上ニ於テ競争ガ起シタトキニハ、悉ク地方官ガ之ヲ指揮命令スルト云フノアルコトモアリ、或ハ中央政府ノ命令ヲ受ケテスベカラザルコトモ往々爲シテハゴザリマセヌガ、彼ノ先年ノ選舉干涉ノ如キ、如何デゴザリマスルカ、皆中央政府ノ意向ヲ受ケテ干涉スベカラザルモノニ大ニ干涉スルト云フコトモアルノデゴザリマス、シテ見マスレバ此農工銀行ノ發起人ノ指定ヲ地方ノ縣知事ニ任せマシタナラバ、或ハ中央政府ノ意向ヲ受ケテ、或ハ御用商人ニヤルトカ、或ハ何黨ニ之ヲヤラウトカ、今デハ隨分地方ニ於テ此黨派ノ諸君ハ如何デゴザリマス、實ニ言フベカラザル弊害ガ起ルデアラウトモノガアリマスル、此銀行ノ特別ナル保護ヲ與ヘテ、此農工ヲ保護シヤウト云フ銀行其物ヲシテ、若シ此黨派ノ間ニ投グルト云フコトニ爲シタナラバ、ヒマス、又私ガ政府委員ニ向シテモ甚ダ疑フコトガゴザリマスル、私ハ毎々人ヲ信ズル者デゴザリマスル、添田君杯ハ誠ニ能ク此事ニ就イテ御取調ニナク

タト云フコトヲ感ジテ居リマスルガ、此第四條ニ至^シテハ實ニ私ハ疑ヲ起ス、其上ニ此事ニ就イテハ大變政府デモ鄭重ニ調べテ、農工銀行法逐條ノ説明書ト云フ者ヲ持ヘテ、吾ニ配付シテアルノデゴザイマスル、此理由書ノ第四條ニ云フニハ「商法ノ規定ニ從ヘバ株式會社ハ四人以上アレバ發起人タルコトヲ得」商法第百五十七條抑モ農工銀行ノ設立ニハ制限アルヲ以テ之ヲ一部ノモノニ私セシメ又ハ確實ヲ缺クカ如キコトヲ避ケサルヘカラズ故ニ本條ヲ必要トス」斯ウ云フコトガ書イテアル、然レバ是ガ限ラレモノデアルカラシテ、若シ四人デヤツタ時ニ、一方ニ偏シテハナラヌト云フニ就イテ、成ルタケ八數ヲ多クシテ之ヲ十分ニシテ、是ハ誠ニ私が政府ノ調ハ宜イ、又公平ナコト、思フ、然ルニ立石君ガ此說ヲ提出シタ以來、政府委員ガ遽ニ說ヲ變ジテ、成ル程政府デ提出シタ時ニハ十人以上ノ發起人ヲ以テヤツタラ宜カラウト思ヒマシタガ、近頃ニナルト各地ノ競爭ガアルヤウデアルカラ、成ル程唯今ノ修正案人如クニナツタラバ政府デモ大ニ宣カラウ、就イテ又反對スル譯デモゴザイマセヌト云フコトヲ答辯シタノデゴザイマス、誠ニ私が奇態ダト思フ、如何ニ此案ヲ提出シタ日ハ私ハ知リマセヌケレドモ、ソソナニ長イコトデハアリマスマイ、議案ヲ提出シタ僅ニ日ヲ經過スル間ニ、初メハ十人ノ發起人ヲ民間ノ望ミニ依ツテヤラセヤウト云フテ、後ニハ——今度ハ政府カラ指名サシタ方ガ宣シウゴザリマセウト云フヤウナコトハ、何タル言責ノナイコトデゴザリマスルカ、實ニ添田君ニ不似合、政府委員トシテ不似合ナコト、思フデゴザリマスル、僅カ三十日カ四十日ノ間ニ、ソソナニ變化スルト云フコトハナイヂヤゴザリマセヌカ、ナレドモ物ニ依ツテハ變化スルノモ私ガ一ヶ咎メルデハゴザリマセヌケレドモ、或ハ政府ハ幸ニ此修正說ガ出タニ就イテ之ヲ以テ中央政府デ是ニ干渉シ、各縣ノ金權茲ニ人望ヲシテ掌中ニ籠絡スルタメニ、斯ノ如キ事ヲ致シタノデアリヤシナイカト私ハ疑フ、前申シタ通必ズ地方ノ縣知事ニ之ヲヤラスルト云フ譯ニナツタナラバ、地方ノ縣知事ト云フモノハ、是ガタメニ大藏大臣ノ訓令ヲ受ケタナラバ、決シテ背クト云フコトハ出來マスマイ——然ル時ニハ或ハ大藏大臣モ總理大臣カラ訓令ヲ受ケタナラバ、ソレニ背クコトノ出來ナイ事モゴザリマセウ(吉本榮吉君)餘悉ク全國或ハ其當時ノ總理大臣、或ハ大藏大臣或ハ地方縣知事ノ行政者ノ儘ニナル者バカリ此銀行ノ役員ヤ頭取ニ爲ルト云フコトニ爲ル、或ハ隨分政府ノ御味方黨ノ人ハ利益ヲ得ルコトガアルカモ知レヌケレドモ、斯ノ如ク此社會ノ經濟上ノ事ニ立入ッテ、或ハ政黨のノ事ヲ利用シ、或ハ又大臣ナリ縣知事等ノ權力ヲ利用スルト云フコトハ、極惡ルイ事デゴザリマスル、ドウモ斯ノ如キ事ハ誠ニ見易イ道理デアルニモ拘ラズ、彼ノ自由民權ヲ以テ大ニ名ヲ得テ居ル所ノ自由黨ノ諸君カラシテ、斯様ナ修正案ノ出ルト云フコトハ、如何ニモ私ガ不思議ナ事ト思ヒマスル、又政府ガ一旦出シタモノヲ直グニ自由

黨カラノ修正案ニ贊成スルト云フノモ、尙更私ガ奇々怪々ト思ヒマスル、併ナガラ私ノ此疑ハ杞憂デゴザイマシテ、今誠ニ國家ノタメニ幸ナコトデゴザイマスル、恐ラクハ自由黨ノ諸君杯モ斯ノ如キコトヲ舉ゲテスルト云フコトハ、萬々アルベキ事デハナイ、或ハ政府デハ、此機ニ乘ジテ地方ノ金權ナリ人望ナリ、握ラウト云フコトヲ欲望シテ居ルカ知レヌケレドモ、苟モ民權ヲ重シ金權ヲ重シテ、此立憲政體ノ下ニ立ツノ政黨ニ於テハ、右様ナ事ヲスルノハ決シテアルベカラザルコト、思ヒマスルニ就イテ、今日ニナツタナラバ定メシ此事ハ御取消ニ爲ルダラウ、又本員ノ說ニ御贊成ニナルダラウト思ヒマスルカラシテ、ドウソ諸君モ此公平ナル所ノ本員ノ修正說ニ御同意アランコトヲ思ヒマシタガ、此事ハ御取消ニ爲ルダラウ、又本員ノ說ニ御贊成ニナルダラウト思ヒマス、而シテ私が第四條ヲ復活セシムルニ就イテ、茲ニ字ヲ一つ加ヘタイノデゴザイマス「其營業區域内ニ一箇年以上原籍ヲ有シ居住シタル者」トスウ致シタノデゴザイマス、此「發起セントスル者ハ」ノ其下ハデス「其營業區域内ニ於テ一箇年以上原籍ヲ有シ居住シタルモノ十人以上」ト云フ斯ウヤリタイ、ナゼ之ヲ加ヘタイカト言ヘバ、此次ノ第五條ニハ矢張此營業區域内ニ於テ原籍及居住ヲ有スルト云フノハ、是ガ銀行ノ株主トナルモノハ、是非其區域内ニ居ラナケレバナラヌト云フノハ、政府委員ノ屢々説明スル通り、是ハ專ラ地方ノ人ニヤラシテ、地方ノ福利ヲ増進スルダラウ、而シテ發起人ノ方ニハ何モソレガナイノハ、大方此株主タルコトヲ得ズト五條ニ在ルカラ、茲ニ書カナクテモ宜イト云フ心得カモ知レナイケレドモ、私が考ヘルニハ隨分競爭抔ノコトニ就イテモ、他府縣ニ之ヲ無暗ニヤルヤウナコトハ、其地方ヲ損ヒマスルカラシテ、茲ニ「此營業區域内ニ於テ一年以上原籍ヲ有シ居住シタル者」云々ト云フコトニ改メタイト思ヒマス、ドウツ御贊成アランコトヲ希望致シマス

○議長(楠本正隆君) 工藤君ノ修正說ニ贊成ガアリマスルカ
(「贊成々々ト呼フ者アリ」)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ工藤君ノ修正說ハ成立致シマシタ
(「政府委員大藏書記官添田壽一君演壇ニ登ル」)

○政府委員(添田壽一君) 唯今工藤行幹君ノ御說ヲ承リマシタガ、是ハ政府ハ餘程偏スルモノデアルト御認メノ上ノ假定ノ御說ト外認メマセヌノデアリマス、私ノ見ル信ズル所ヲ表白致シマス、凡ツ此經濟ト政治トハ決シテ混同スペキモノデナイト信ズルノデアリマス、既ニ工藤君モ朗讀セラレマシタル逐條説明ハ、即チ公ケノ手續ヲ以テ御要求ニ依ツテ差出シタルモノデゴザイテ、御朗讀ニナツタル通デアリマシテ、成ルベク公平、公平不偏ト云フコトヲ務メタイト云フガ、私ノ畢生ノ希望デゴザイマスル、ソレデ少シモ今日ニ至ルマデモ其大希望ハ變更致サナイト云フコトヲ御承知願ヒタインデゴザイマス、成ル程委員會ノ經過ニ於テ、隨分此立法時機モ差迫フテ居リマスルカラ、成ルベク早ク纏メタイト云フ希望ヲ、常ニ私ハ委員會ニ望ンデ居ツタノデアリマス故ニ、隨分甚ダ捨置キ難イ御言葉杯モ出マシタケレドモ、僅ナ

事ハ争ハスト云フ位ニシテ、總テ成ルベク諸君ノ議決ヲ重ンズルト云フ趣意ヲ執シテ居クタノデアリマス、諸君ノ御多數デ決セラル、ハ、今日ノ事情ニ照シテモ已ムヲ得マセヌト云フコトデアリマシテ、決シテ進デスノ如キ希望スルト云フコトハナイ（河島醇君「口デハナイト言フケレドモ速記録ニ書イテアル」ト呼フ）宜シウゴザイマス、速記録ヲ御覽ニナレバ分カル、別段争フ必要ハナイノデアリマス、ソレデ事實ハ私ガ初メカラ心ノ中ニ計畫シテ居ル所ニ依レバ、府縣知事ト云フモノハドウシテモ大株主デアリマス、是ハ三分ノ一以内ノ金ヲ引受ケルト云フコトハ、既ニ諸君ガ贊成セラレントスル補助法案ニ規定セラレテ居リマスカラ、知事ハドウシテモ大株主デアリマス、故ニ縣下ノ農業、工業ノ改良發達ニ大關係ヲ有スルコトデゴザイマスルカラ、知事ハドウシテモ是ハ中心ト爲シテ勵ケキモノデアル觀念ハ初カラ持テ居タルノデゴザイマス、然ルニ此法案が議會ニ提出セラレタル以來、各地方ニ於テハ隨分計畫が劇シクナツテ居リマスル、旁々此附則ノ如キ御改正ガアッテモ、別段今日ノ實際トハ相反スルモノデナイト云フコトヲ申上ゲタノデ、私ノ眼中ニハ何黨トカ云フコトハナイノデゴザイマスカラ、此段陳述致シテ置キマス

○河島醇君（百七十九番） 質問ガアリマス、本員ハ政府委員添田君ニ特ニ質問ヲ致シマス、政府ガ政治上ト經濟上ト問題ガ違フ、故ニ經濟上ニ向シテ偏頗ナ主義ヲ執ラヌト云フコトハ當リ前デアル、又言葉ノ爭ヲセヌ、初カラノ意思ヲ貫クタメニ、餘計ナ争ヲセヌト云フコトモ當リ前ノ話デアルカラ、聽ク必要ガナイ、唯聽カント欲スルノハ本員ガ政府委員ニ聽クノデアル、此農工銀行ノ組織上ニ於テ、中央銀行ト違フカラ役人ノ組織罰則ハ普通ノ商法ニ依リ、極自由ニ組織セラレテアル、是モ是デ宜シ、然ルニ今日ノ狀況ハ地方ノ發起人ヲシテ斯ノ如キ發起ヲ爲サシムハ、或ハ地方ニ偏スルコトハナイカ、是ニ對シテハドウスルカ、彼ノ日本銀行ニ對シテハ元ト政府ガ大ニ是ニ保護ヲ與ヘ、今保護ヲ與ヘル所ノ金額ハ帝室ノ御財產デ、日本銀行ノ大株主ト致シマシテ内藏頭ガ會議ニ臨ムト云フ位デアル、矢張ソレト同ジク府縣知事ハ自ラ株主ノコトデアルカラ、是ニ就イテ若干ノ權利ヲ持ツカト問フタ所ガ、政府委員ハ日本銀行ノヤウニ爲シタイモノデアル、是非監督ハ爲シタイモノデアル、併ナガラ中央ハ一旦商法ノ規定ニ依シテ組織致ス積リデアル故ニ、サウ干渉スルコトハ出來ナイノデアル、併シ政府ハ監督致シタイモノデアルト言ハレタ所ガ、今工藤君ガ述ベラレタ所ニ對シテ、政府委員ガ駿擊セラレタ事トハ事實相反シテ居ル、先キニハ政府ハ干渉セズシテ商法ノ規定ニ依シテ創立セシメントシタ人ガ、俄ニ或黨派ノ修正案ガ出タ故ニ、政府ハ何カ情實ノタメニ先ニ述ベラレタコトヲ翻サレタノデアルカ、縱令翻サレテモソレハ咎メヌノデアルガ、前ノ商法ノ規定ニ依シテ創立セシムルコトハ、俄ニ其言ヲ食マレタト云フコトハ、ドウ云フ事情デアルカ、ソレヲ聽イテ置キ

○政府委員（添田壽一君） 御答ヲ致シマスルガ、決シテ私ハ言葉ヲ食ンダト云フコトハ自分ノ良心ニ於テ考ヘマセヌノデアリマス、既ニ原案ノ説明ニハ、此御修正ト云フコトハ、其時マダ出テ居ラヌノテアリマシテ、即チ原案ノ組織ノ御覽ニナレバ、普通ノ方法ニ依ルト云フ言葉ヲ以テ辯明シタヨリ外ハナイノデアリマシテ、其後ニ出タル此修正案ニ就イテ其言葉ガ違フト云フコトハ、葉ヲ變ヘタノハ、何カ事情ガアルカト云フ御尋デゴザイマスルガ、先刻モ申上げマスル通り、私ノ眼中ニハ何等ノ黨派トカ云フコトハゴザイマセヌノデアリマシテ、決シテ此修正ニ就イテデス、別モノ（河島醇君「本員ハ黨派ノ關係ハ尋ネマセヌ、本員ノ聽クノハ修正ガ出タラ俄ニ商法ノ規定ニ依リテ設立シヤウト云フ意思ヲ翻サレタ本旨ヲ問フノデアル」ト呼フ）意思ハ決シテ翻シテ居リマセヌ、願ハクハ原案ノ通ナレバ是ニ越ス事ハナイ、今日諸君が多数ノ立法權ヲ以テデス、御修正セラル、ニ於テハ、事實經リノタメニ反対ヲシナイト云フダケノコトデアリマス

○河島醇君（百七十九番） ソレナラ宜シイ

○喜多川孝經君（百六八番） 私ハ唯今ノ工藤君ノ説ノ如ク、此四條ヲ復活スルコトニ賛成デゴザイマスル、併ナガラ其理由ニ至シテハ工藤君ノ如ク、或ハ黨派ガドウトカ、或ハ政治上ニ關聯シテ居ルトカ云フヤウナ事ハ私ハナイ、要スルニ是ハマア大體此勸業銀行トカ農工銀行ノ如キハ、私共ハ丁度大旱ニ雨ヲ得タヤウナ心持テ是ヲ迎ヘテ居ル、ソレデ此案が愈々行ル、ト云フコトニ爲リマスレバ、私共ハ非常ノ利益ヲ得ル、殊ニ田舎ノ端々及中産以下ノ者ニ利益ヲ與ヘルト云フコトハ非常ナ事デアルテ、實ニ有リ難ク存シテ居リマス、ソレ故成ルタケ公平ニ、成ルタケ偏頗ナラヌヤウニ、十分ニ此銀行ノ利益ヲシテ全カラシメタイト云フノガ希望デゴザイマス、然ルトキニハ最早今日ノ状勢ニ照シテ見マスレバ、各府縣共ニ既ニ競争ノ象ヲ現シテ、アルノデ、此競争ハ相互ノ間ニ於テ發起人が競争シテ居リマスルトキニ、知事ガ干渉ヲシテ挨拶向ノ方ニナレバ、大ニ公平ヲ得ルコトガ出來マスカモ知レヌト思ヒマスガ、若シ知事ガ選ラ致シマシテ誰彼ミト云フヤウナコトニ爲シテ、万一知事が競争的ニ爲シテ遂ニ府縣ニハ府縣會ト云フヤウナモノガアッテ、自ラ勢力ノ强大ヲ來シテ居ル何黨々ト云フモノガアル、其勢力ノ強イ者ヲ取シテ、尙ホ段々銀行ノ業務ヲ行フ上ニモ、兔角強イモノニ向シテ利益ヲスルト云フコトデアツタナラバ、此銀行ハ我輩ガ喜ンデ迎ヘタト、丁度反對ノモノニ爲シテ、茲ニ期スル所ノ利益ト云フモノハ、全ク正反對ノ結果ヲ來スト云フコトヲ私ハ恐レルノデアリマス、ソレ故ニ此競争ハ民間ニ起サセシメテ、官ハ仲裁役ト爲シテ公平ヲ得セシムルコトヲ期シタイト云フノガ、私ノ希望デゴザイマス、ソレ故此理由ヲ以テ、即チ復活ト云フコトノ

○石田貫之助君(二百四十八番) 私ハ委員會ノ修正案ヲ主張シマスデゴザイマス、工藤君ハ長ク御述ニナリマシタケレドモデス、其要點ハ誠ニ少シデアリマスカラ、私ハ多言ヲ要スルコトハナイト思ヒマスデ、此處カラ述ベマス、ソレハ先日委員會ノ理由ヲ報道シマシタル如ク、元ト反対者タル工藤君モ今申述ベラル、如ク、此條ヲ削リマシタト云ヒマスルモノハ、此銀行ニシテ目下ノ狀況、其設立ニ於テ其必要ヲ認メタノデゴザイマス、ソレハ何カト云ヒマスルト云フト、此政府案ノ通デゴザイマスルナレバ、餘程是ハ競争ト云フコトニ立至ルコトハ吾々ハ固ク信ズルノデゴザイマスル、現ニ反対者タル工藤君モ、本日ハ申サレマセナシダケレドモ、先日委員會ノ節ニ於テハ多少競争ハアラウト云フコトハ明言ヲ致シタ事デゴザイマス、私共ハ全國各府縣トハ斷定ハ致シマセヌ、然レドモ此場合ニ此銀行ヲ設立スルニ於テ競争ノアルト云フコトダケハ堅ク斷言シテ差支ナイト思フノデゴザイマス、而シテ此銀行ハ如何ナルモノカト申シマシタナレバ、先日報道致シマシタル如クデ、先刻工藤君ガ言ハレル如ク、斯様ナ設立ヲ府縣知事カラ指定スルモノナラバ、府縣ノ是ハ公共的營造物ト云フコトヲ宜シク記憶致サンケレバナラナイト云フコトヲ言ハレマシタケレドモ、確實ナル議論ヲ主張セラル、工藤君ニ於テハ、少シ了解シ兼ネルト思ヒマス、本案ハ左様ナモノトハ事柄ガ違フノデゴザイマス、或ハ鐵道、或ハ私立會社トカ、悉クサウシナケレバナラナイト云フコトヲ言ハレバ此二十万以上ト云フ株金ニモ拘ラズ、二十圓ト云フ株式ニ致シタト云フコトモ、其縣下ニ廣ク権主ヲ揃ヘマシテ、サウシテ其借錢ヲ負ヒ、相關聯シテ圓滿ナル効キヲナサウト云フノガ即チ本行ノ趣意ナンデゴザリマス、然ルニ此設立ノ際ヨリ大ニ競争ヲ起スト云フコトニナリマスル、然ル競争ヲ此中ニ以テ、既ニ委員會ニ於テモ阪本君デアラカト思ヒマスル、政府委員ニ御尋ニナリマシタ、若シ此設立ヲシテ或ハ農者バカリ發起ヲ致シテ、工業人ト云フモノガ一人モ這入ラナケレバドウナルカ、又其反対デ工業者バカリ發起人トナリテ、農業者ガ一人モ這入ラナカツタナラバドウデアル、ソレデ工藤君ノ議論ノ要旨ハ、是ハ地方行政官ノ機關トスルト云フコトガ議論ノ反対ノ要領ト私ハ聽取リマシタガ、一向私ハ分リマセヌノデアリマス、最初ニ設立委員ナルモノハ一時ノモノデゴザリマス、是ハ日本勸業銀行ノ重役ト云フモノヲ政府ガ任命スルモノトハ違フノデゴザイマス、此法案ニ於キマシテハ、唯一時ノ設立委員之ヲ府縣知事ガ指名致シマシタ云ツテ、是ガ地方行政ノ機關ト爲ルト云フコトニ至ルテハ、立法ノ精神ニ於テハドウ云フ所ニ關係スルノカ了解致サヌノデアリマス、ソレデモウ少シ是ハ心ヲ平ニ安ラカニ御考ニカニ御考ニナリマシタラバ、種々ナ誠ニ小人ラシキ、卑屈ラシキ議論モ出マスマイカト思ヒマス、私共ハ實ニ此勸業銀行ナリ、農工銀行ナリ、近年隨分新ラシイ問題ヨリ公益アル事業ト考ヘ、又強大ナル事業ト考ヘテ居ルノ

○吉本榮吉君(八十二番) 委員長ノ報告通ニ之ヲ削ルノガ宜イト思フ、是ニ對スル工藤君ノ如キハ、政府ハドウトカスウトカ云フコトヲ云ヒマスガ、私ハ政府ハドウデモサウ云フコトハ構ヒマセヌ、發起ヲ競争スルヤウナ場合ニ於キマシテハ、アチラカラモ、コチラカラモ、數十人、數百人競争スルヤウナ譯デハ容易ニ纏ラヌ、又ソレガ一變シテソレヲ望ム者ガナイヤウナ場合ニナシテ見ルト、亦此法ガ實施スルコトガ出來ナイ、故ニ委員會ノ此修正ノ如クガ宜イト思フ、府縣知事ガ或ル一部ノ者バカリヘ指定スルカト思フケレドモ、知事ハ決シテサウ云フコトヲヤラナイ、ソレハ衆議院議長楠本君、議長指名ノ特別委員ト謂クタナラバ、自分ガ進歩黨デアルカラ進歩黨カラバカリ出シサウナモノダケレドモ、矢張自由黨カラモ出テ居リマス、又發言ヲ求メテモ進歩黨ノ者バカリニ許シサウナモノデアルガ、サウ云フコトハナイ、決シテ懸念スルニ及ビマセヌ

〔討論終結ト呼フ者アリ〕

○工藤行幹君(百十番) 一ツ質問シタイ事ガゴザイマス

○喜多川孝經君(百六番) 私ノ趣意ヲ磨滅セシメラレタ議論ニ向ツテハ……

○議長(楠本正隆君) 討論終結ガ議題ニ爲リマシタ

○議長(楠本正隆君) 討論終結ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、因テ討論ハ終結致シマシタ——工藤君ノ修正案ヲ朗讀シテ決議ヲ採リマスル

第四條 農工銀行ヲ發起セントスル者ハ其營業區域内ニ一年以上原籍ヲ有シ住居シタル者十人以上ニシテ總株數ノ十分ノ二以上ヲ引受クヘシ

(「賛成々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 工藤行幹君ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

(「多數々々」ト呼フ者アリ「少數々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 此際能ク調査ヲ要シマスル——少數ト認メマスル

(「少數ナラ異議ヲ申立テマス」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 然ラバ閉鎖ヲ命ジマス、成ルタケ時間ヲ費サヌ方ガ宜シウゴザイマスルカラ、昨日ノ如ク記名投票ヲ用ヒマスル、而シテ賛成ノ諸君ハ白、反対ハ青——是ヨリ點呼ヲ始メマスル

(町田書記官氏名ヲ點呼ス)

○議長(楠本正隆君) 開匣ヲ致シマス——開鎖

(書記官投票ノ數ヲ計算ス)

○議長(楠本正隆君) 投票ノ結果ヲ報シマスル

可トスル者 少數

九十一

外ニ無效ガ二票アリマス、因テ工藤君ノ修正案ハ消滅ニ歸シマシタ、著席ヲ請ヒマス、次ハ第四條ノ原案ニ就イテ決議ヲ採リマスル

(「原案賛成」ト呼フ者アリ「異議アリ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 原案ニ就イテ決議ヲ採リマスル、著席ヲ請ヒマスル、第四條原案ニ同意ノ諸君ハ起立

起立者 少數

○議長(楠本正隆君) 少數、即チ第四條ハ削除ニ決シマスル——次ハ原案ノ第五條、——五條ノ一項、二項御動議ガナクバ原案ニ決シマス、是ヨリ三項ヲ五條ニ改メルコトガ修正ニナツテ居リマス

(「異議ナシ異議ナシ」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 御異議ナシト認メマス、因テ第三項ハ委員會修正通第

五條トスルコトニ決シマス、次ハ第二章營業、第六條ヲ議題ト爲シマスル

○河島醇君(百七十九番) 議長、本員ハ修正ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 通告ガアリマス——工藤行幹君

○工藤行幹君(百十番) 極簡單デアリマスカラ茲カラ……本員ハ此第六條ノ

原案ノ修正ニナツテ居ル「定期及」ト云フノヲ取テシマフ、ソレカラ第二ノ修正ハ賛成致シマス、ソレカラ此三、四、五ハ刪除シテサウシテ更ニ斯ウ云

フ一項ヲ加ヘル、丁度第三ニ這入リマス「年賦償還貸附金總高ノ十分ノ二ニ相當スル金額ニ限り不動產ヲ抵當トシ三箇年以内ノ定期償還貸付ヲナスコトヲ得」トスウ云フコトヲ第三ニ加ヘル、ソレダケノ修正、其理由ハ簡単ニ申シ

マス、ソレカラ第五ト云フハ、二十人以上ノ農工者ニ無抵當ヲ以テ金ヲ貸ス

ト云フコトデアリマス、是ハ大層結構ナ事デアリマスガ、信用組合デモアル

トキナラバスウ云フコトヲヤクテモ宜イガ、目下信用組合ノナイ場合ニ當ツ

テ、無抵當デ二十人以上ノ者ニ金ヲ貸スト云フ途ヲ開イタナラバ、銀行ハ甚

危險ナモノニ陥ルト思ヒマス故ニ、是ハ刪除シテ、而シテ新タニ加フル年

賦償還云々ハ、勸業銀行ノ方ニモ十分ノート云フ金額ヲ限り金、銀、地金、

其他不動產ハ抵當トシテ貸付ケルト云フコトガアリマスガ、此農工銀行ニハ

ソレヲナクシテ、二、三、四、五ト云フモノヲ加ヘタノデアルカラ、三、四、五ヲ取ツタ以上ハ斯ノ如キ條項ガナケレバ農工銀行ノ營業上餘程狹隘ト

爲シテ運轉ガ付クマイト思ヒマスカラ之ヲ入レ、且ツ旁々此土地ヲ所有シテ

細カイモノ、土地ヲ抵當トシテ借りリ普通ノ銀行、或ハ田舎ノ金持カラ借り

ルモノハ大變利ガ高イ、ソレガタメニドウモ所有ノ土地ヲ取ラレルト云フコトガ往々アルノデゴザイマスカラ、一方デソレヲ保護シテヤリタイト云フ精

神ニ外ナラヌ、唯議場ハ何ンダカ黨議トカ、何トカ云フモノヨリハ動カヌト云フコトデスカラ、駄目デアラウト思ヒマスカラ、簡單ニ申シテ置キマス

○前川楨造君(二百四番) 議長

○議長(楠本正隆君) 前川楨造君

○前川楨造君(二百四番) 私モ此處デ述ベテ置キマスガ、私ノハ第六條ノ委

員修正案ノ三項、四項即チ原案ノ二項、三項ヲ削ルノデス、是ハ勸業銀行ノ

時ニモ議論ノアツタ如ク、此業務ハ即チ普通銀行ノ營業ニ居ル業務デアル、然ルニ今勸業銀行ヲ——農工銀行ニ於テ營ムト云フコトニスレバ、詰リ普通

銀行ト競争ガ始シテ來ル、此競争ト云フコトハ、固ヨリ唯同等ノモノ、競争

ト云フコトデアレバ甚ダ宜シクアルガ、御承知ノ如ク農工銀行ハ一方ニ於テ

非常ナル保護ヲ受ケ、其保護ヲ受ケタモノヲ以テ單ニ保護ノナイモノト相觸

フト云フトキニハ、保護ヲ受ケタモノガ勝ツト云フコトハ當然デアル、斯ノ

如ク一方ニ保護シタモノト、一方ニ保護モシナイモノト競争場裡ニ争ハセルト云フコトハ、經濟上大害ヲ遺スノハ明カデアル、殊ニ此事ハ唯普通銀行、農工銀行トノ競争ニ止シテ害ヲ他ニ及サナインラバ尙ホ忍ブベシ、併ナガラ此競争ノ結果トシテ、普通銀行ノ部分ヲモ蠶食スルト云フコトニ爲ルト、是マデ普通銀行ガ傭キツ、アル他ノ部分ニ迨侵害スルコトニ爲ル、然カシマスル詰リ之ガタメニ非常ナル金融社會ニ影響ヲ與フルト云フコトハ、即チ

競争ノ部分ノ外ニ非常ナル侵害ヲ與ヘル結果ガ生ズルト考ヘマスカラ、此簡條ハドウシテモ除カナケレバナラヌト思フ、又農工銀行自身カラ考ヘテモ、甚ダ是ハ宜シクナイト思ヒマス、凡ソ農工銀行ハ其銀行ノ性質ヲ致シマシテ、永年貸付ヲシテ確實ナル事業ヲシナケレバナラヌト云フモノデアルニ拘ラス、斯ノ如キ單ニ普通銀行ノ爲シタル業務ヲナサシムルト云フコトニ爲ルト、從テ今日此肝腎ナル本務ハ疎カニナッテ、サウシテ此附ケタリノ方ガ或ハ専ラニナルト云フ所ノ恐ガアルノデアル、デ、勸業銀行ナリ農工銀行ナリ、御承知ノ如ク重大ナル關係ヲ持ッテ、非常ナル影響ヲ與ヘルモノデアルカラ、殊更ニ斯ノ如キ保護ヲスルモノガ、苟モ營業ノ上ニ於テ危險ノ恐ノアルト云フヤウナル事業ヲ爲サンシムルト云フコトハ、立法上ニ於テ誠ニ謹デ避ケナケレバナラヌト考ヘマス、況ヤ此委員會ニ於テモ、毎々御話が出マシタガ、此時ニ勸業銀行ノ方ノ第四條第二項ヲ除ク外ト云フ事ヨリ、農工銀行ノ二項三項ニ於テ其感ヲ一層強クシタ、ナゼナレバ勸業銀行ニアレバ一箇所ニアラテ監督者タル大藏省ノ下ニ在ル銀行デアルカラ、監督モ居キ社會ノ目モ其一方ニ集テ來ル、故ニ之ヲ監督スルコトガ出來ルガ、御承知ノ如ク農工銀行ハ各縣ニ分レテ居ルモノデアルカラ、監督モ十分ニ届カズ、世人ノ——社會ノ監督モ十分居カヌト云フコトニナル故ニ、勸業銀行ニ於テ此簡條ヲ削ルコトノ必要ヨリ、尙ホ一層此農工銀行ニ於テハ其簡條ヲ削ル必要ヲ認メマス、此事ハ委員會ニ於テモ政府委員ニ向シテ質問シタ所ガ、政府委員ノ言フニ、畢竟フコトデ、政府委員ニ話シタ所ガ、其結果オマケニ出來テアルガ故ニ、取除クニ異議ハナイト云フコトデアッタ、政府既ニ此簡條ヲ取ルト云フコトニ異議ノナイ以上ハ、ドウカスノ如キ所ノ危險極ル方法ハ取除イテ安心シタ目的ニ使フコトニシテ、真ニ農工等ノ改良發達ヲ圖ル所ノ完全ナル機關ノ成立ヲ見ルヤウニ致シタイト考ヘマス、ドウカ満場ノ諸君ノ御賛成ヲ得タイト考ヘマス

○議長(楠本正隆君) 河島醇君
(河島醇君演壇ニ登ル)
○河島醇君(百七十九番) 諸君、此第二章ノ第六條ハ農工銀行ノ骨髓トモ謂シベキ所ノ最モ須要ナル所ノ條項デゴザイマス、段々是ニ就イテ修正削除ノ御意見モゴザイマシタガ、本員モ是ニ就イテ修正ノ意見ヲ存スルモノデゴザル金額ヲ限り不動産ヲ抵當トシテ貸付ヲ爲ス、故ニ第六條ノ修正シテ、故ニ第六條ノ修正ヲ致シテ、從テ原案ノ第二項、三項、四項ヲ削除スルト云フコトノ意見デゴザイマス、元來第六條ニ斯ク修正ヲ致サウト致シタ

精神ハ何デアルカト云フト、丁度勸業銀行ト同様ナ性質ヲ以テ、農工銀行モ貸付ヲ爲サセヤウト云フノガ其目的ノ主眼デアル、唯土地ノ營業區域内ガゴザイマスルガ故ニ、其制限上幾分カ業務ニ就イテ廣狹ハゴザイマスルケレドモ、同様ノ性質ノ法ニ規定スルガ宜カラウ、而シテ第二項、第三項ハ段々別ナル所ノ銀行ニ置イタナラバ、是ハ普通ノ營業ヲ規定シタモノデアル、若シ此タメニ一銀行ガ利害ヲ得マスレバ、勸業銀行ノ根抵當ニ取ル所ノ農工債權ト云フモノニ價ヲ失ッテ、遂ニ勸業銀行ノ失敗ニ爲ルト云フコトハ明ノ事デゴザイマスルガ故ニ、此農工銀行ニ斯ノ如キ特條ヲ置キ、所謂政府委員ノ御土產、斯ウ云フ危險ナル御土產ハ速ニ削除アランコトヲ望ミマス、最モ有害無益ナルモノデアル、ソレカラ第4條ト云フモノハ、ドナタカ先刻モ申サレタ如ク、將來信用組合が出來タ既ニハ最モ必要ナル法條デゴザイマスルケレドモ、今日ノ時代、今日ニ於テ此農工銀行ノ發達ト共ニ銀行ノ鞏固ヲ期スルガタメニ、之ヲ削除スルト云フ本員モ意見デアル、故ニ第六條ハ前ニ陳ベタル如ク「農工銀行ハ三十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動産ヲ抵當トシテ貸附ヲ爲スモノトス」第一項農工銀行ハ年賦償還貸附金總高ノ十分ノ一二相當スル金額ヲ限り不動産ヲ抵當トシ五箇年以内ノ定期償還貸附ヲ爲スコトヲ得」斯ノ如ク修正ヲ致シテ、而シテ二項、三項、四項ヲ削除スル、是ハ必ズ削除シナケレバナラヌト思フ、故ニ願クハ本員ノ修正意見ニ賛成アラシコトヲ希望シマス

○重野謙次郎君(二百三十九番) 一寸簡單デアリマスカラ此處カラ陳ベマス、此第六條ニ就キマシテ工藤君カラ修正説ガ出テ居リマスガ、ドチラカラ出タ説トシテモ宜イノデアリマスガ——工藤君カラ出テ居ル所ノ修正ハ甚ダ同意デアリマスカラ、贊成ヲ表スルモノアリマス、ソレデ其理由ヲ聊カ述べヤウト思フ、ソレデ農工銀行ヲ民間デ大旱ノ雲霓ヲ望ムガ如ク之ヲ待ツテ居タモノハ、是ハドウ云フモノデアルカト申シマスルト、土地ヲ抵當ニシテ金ヲ借りルコトガ出來ル銀行が出來ルモノデアル、斯ウ云フ事ヲ私共ハ信シテ居タモノデアル、ソコデ商業ノ機關ハ是マデアリマシタケレドモ、殆ど此農業界ノ機關ト云フモノハナカツタノデゴザイマス、所ガ、段々農工銀行法ヲ讀ンデ見マスルト、此金ヲ貸付ケルモノハ第七條ニ至ツテ其範圍目的ト云フモノハ至ツテ狹少ニ限ラレテ居ルノデアリマス、ソレデアリマスカラシテ、吾々ノ希望シタノトハ大變ナ相違ヲ來シタ云フ考ヲ持ツテ居ルノデゴザイマス、ソコデアルカラシテ、丁度工藤君ノ今ノ御説ハ勸業銀行ト同ジャウニ、十分ノ二以内ト云フモノハ土地ノ抵當ニシテ短期ノ貸付ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニナリマスレバ、大變ニ範圍ヲ廣クシタ修正デアリマスルカラ、私共ハマダ満足ハ致シマセヌケレドモ、較餘程是ガタメニ便利ヲ得

ルダラウト云フ考ヲ持テ居ルノデアリマスカラ贊成ヲスルノデアリマス、ソレカラ特ニ第六條ノ第五ノ「二十人以上」ト云フコトヲ削除スルト云フコトハ、最モ是ハ必要ノ事デアラウト思ヒマス、誠ニ此二十條ト云フモノハ極端ニ議論ヲスレバ、此二十條ノ存スルト存セヌト云フニ於テ農工銀行ノ興廢ニ關係ヲ及スモノデアルト私共ハ考ヘテ居ル、ソレハドウ云フコトデアルカト云フト、此二十人以上ノ農業者、又ハ工業者ガ申合セタナラバ、信用上之ヲ貸スコトガ出來ルト云フコトハ斯様デアルノデ、茲ニ唯融通ヲ附ケテアルカラ、是ハ活用法デアルト云フ反對ノ御考ガアルカモ知レマセヌケレドモ、此條項ヲ存シテ置キマスレバ、此非常ナル弊害ヲ來スト云フコトハ、私共ハ之ヲ認メテ居ル、ソレハドウ云フコトカト云フト、委員ニ於キマシテモ其信用ノ確實ナルモノニ限ルト云フ、茲ニ此形容詞ノ修正ヲ爲シタノデゴザイマスケレドモ、例ヘテ之ヲ申シマスレバ、小作人等ガ二十人以上團結シテ金ヲ借り出テ之ニ貸シタ假定シマスレバ、一方ノ者モ矢張組合ヲ立テ、ヤル時分ニハ、御前ハ信用ガアル、信用ガナイト云フコトハ、ナカク肉眼デ之ヲ判断スルト云フコトハ出來ナイ、況ヤ此條項ガアリマスレバ、口實トシテは國庫カラ非常ノ特典ヲ得テ居ル銀行デアルカラ、是等ノ人ニ貸シテ吾ニ貸サヌト云フコトハナイ、斯ウ云フ理窟ヲ以テ種々難多ノ是カラ葛藤ヲ惹起スダラウト思フノデス、ソレデアリマスカラ、抵當ナラバ抵當、質抵當ニ於テ貸スト云フテ置イタナラバ、其市場ノ評價ト云フモノハ後トニ書イテア、此評價ト云フモノハサウ誤リヲ來スコトハナイノデアリマスケレドモ、今ノ信用ト云フコトニナレバ、ナカク判斷ト云フモノハ出來ナイモノノデア、ソコデ確實ナル信用ノ、此確實ナル者ニ限リト言ツテモ、其判斷ト云フモノハナカくムヅカシイ、況ヤ種々ナル運動ガ前申ス通り起シテ、是ガタニ銀行ニ混雜ヲ來スコトガ出來、是ガタメニ此處置ヲ誤ルカ、或ハ此農工銀行ノ役人ノ運動モアリマセウシ、壯士ノ利用等モ起リマセウシ、種々ノ事ガ起キテ、斯ウ云フ事ヲ書イテ置イタノラバ、此農工銀行ノ破滅ヲ是ガタニ來スト云フコトニナルデアラウト思フ、斯ク思ヒマスカラ此二十名ヲ削除スルト云フコトヲシナイト、此銀行ニ大關係ヲ及スコトデアラウト思ヒマス、其他ノ條項ヲ削除スルト云フコトハ、論者カラ述ベラレマシタカラ、私ハ申シマセヌガ、私ノ骨子トスル所ハ此二十人以上ノ者ヲ省クノハ、至當ト思ヒマスカラ、工藤君ニ最モ贊成致シマス

〔贊成タクト呼フ者アリ〕

○宮崎榮治君(二百八十二番) 一寸委員長ニ御尋シタウゴザイマス、此六條ニ第二號ヲ加ヘテ修正ニナシテ居リマスガ、此第二號ノ場合ハ定期貸付ト云フコトハ爲サナイ譯デアリマスカラ、仕舞ノ文面ニ依ツテ見マスレバ、或ハ定期ト云フ文字ガ脱漏致シタコトデハナカラウカト考ヘマスカラ、一寸御尋致シマス、御返答ニ依ツテハ尙ホ本員カラ修正説ヲ出サウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 委員長ハ唯今闕席ニアリマス

○宮崎榮治君(二百八十二番) 然ラバ本員ヨリ一ノ修正説ヲ提出致シマス、第六條ノ第二號ノ修正ハ、最モ本員ガ同意ヲ表スル所デアリマスガ、此文面中ニハ定期貸付ヲ爲スト云フコトハ見エナイ、然ルニ其先キノ第二十條ノ所ニ至シテ、年賦金定期償還金ト云フ文字ガ加ヘテアル、此二十條ノ文面カラ以テ見マスレバ、此第二號ノ場合ニ於テモ必ズ定期貸付ヲ爲スト云フ精神ト認メラル、ノデアル、ソレテ全く委員會ノ精神モ達セラル、ノデアル、就キマシテハ本員ハ此第二號ノ三十箇年以内ト云フ文字ノ下ニ「定期又ハ年賦償還ノ方法ニヨリ無抵當貸付ヲナスコト」ト云フ修正ヲ致シタノデゴザイマスレバ此第五號ノ文面ニ照シテ見マシテモ「年賦償還ノ方法ニ依リ無抵當貸付ヲナスコト」斯様ニ修正スル方ガ穩當デアラウト思ヒマス、其前ノ第一號ノ所ニ於テモ、序ニ一ツ修正ヲ加ヘテ置キタイ、「定期及ヒ年賦償還ノ方法ニ依リ」トアリマスルガ、此及ト云フ字ハ「又ハ」ト云フ字ニナル方が穩當デアラウト思ヒマスカラ、序ニ此修正ヲ提出致シマス

○喜多川孝經君(百六番) 私ハ委員ノ一人デゴザイマシテ、此修正案ヲ出シマシタモノデゴザイマスカラ、今ノ宮崎君ノ御尋ニ對シテ私ノ考ヘタ事ダケヲ御答シャウト思ヒマス

○喜多川孝經君(百六番) 私ハ委員ノ一人デゴザイマシテ、此修正案ヲ出シマシタモノデゴザイマスカラ、今ノ宮崎君ノ御尋ニ對シテ私ノ考ヘタ事ダケヲ御答シャウト思ヒマス

○議長(楠本正隆君) 喜多川孝經君

○喜多川孝經君(百六番) 此第六條ノ第二號ヲ挿入致シマシタ朱書ノ文字ノ全部ハ、此中ニハ定期貸ト云フコトハ這入ツテ居ラヌ精神デゴザイマス、ナセト言ヒマスレバ、全體永年期ニ貸スト云フノガ目的デゴザイマシテ、前ニハ抵當ノアルモノニモ、定期ト云フ文字ガナカクタ位デアリマシタガ、十五條ニ於テ、自然幾部分若クハ全部ヲ返スコトノ出來ルト云フコトノ規定ガゴザイマス、シテ見レバ詰リ定期ノ償還ヲスルコトガ出來ル形ニ爲シテ居タル、若シ十五條ノ通ニ從ツテ償還スルコトニ爲リマスルト、手數料ヲ拂ハナケレバナラヌ、サウ云フコトニナレバ、確實ナ抵當ガアツテ事業ガ有益ノモノナラバ、定期デモ始カラ貸シテ手數料ヲ拂フヤウナ煩ト、不利益ヲ借人ノ方ニ省ク方ガ宜カラウト云フ趣意カラ「定期及」ト云フ三字ガ這入ツタノデアリマス、ソレカラ信用上デ貸シマスルノハ、到底是ハ法人若クハ法律ヲ以テ組織シタ所ノ公共團體ノ仕事ニ貸スノデゴザイマスカラ、一時ニ返ヘスコトガナイ筈デアリマスノデ、寧ロ無抵當デゴザイマスカラ、ソレデ矢張三十箇年以内ト云フコトニ爲リマスノデ、定期貸ハシナイ積リデゴザイマス

○門脇重雄君(百五十八番) 今河島君デゴザイマシタカ、此第六條第四號二十人以上貸付ケルト云フ項目ヲ削ルト云フコトデゴザイマスガ、ソレニハ贊成アルヤ如何ヲ確メマスル、問題ノ成立ノ上ハ反對論ヲ促シマス

○門脇重雄君(百五十八番) 然ラバ其上デ反對ノ意見ヲ述ベマセウ

○議長(楠本正隆君) 工藤君ノ修正案ヲ一應朗讀致サセマス

(町田書記官朗讀)

第六條中二三四項ヲ削除シ更ニ左ノ一項ヲ加フ

三年賦償還貸付金總高ノ十分ノ二ニ相當スル金額ヲ限リ不動產ヲ抵當

トシ三箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ得

○議長(楠本正隆君) 是ニハ定數ノ贊成ガゴザイマスカ

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○門脇重雄君(百五十八番) 議長

○議長(楠本正隆君) 少シ御待チナサイ、是ニハ定數ノ贊成ガアルト認メマ

ス、因テ工藤君ノ修正說ハ問題ニ爲リマシタ、次ニ河島君ノ修正案ヲ朗讀致サセマス

(町田書記官朗讀)

第六條 農工銀行ハ三十箇年以内ニ於テ年賦償還ノ方法ニ依リ不動產ヲ抵當トシテ貸付ヲ爲スモノトス

農工銀行ハ年賦償還貸付金總高ノ十分ノ二ニ相當スル金額ヲ限リ不動產ヲ抵當トシ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコトヲ得

原案ノ二項三項四項ヲ削除ス

○議長(楠本正隆君) 是ニハ定數ノ贊成ガアリマスカ

〔贊成々々ト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 定數ノ贊成ガアルト認メマス、因テ是レ亦問題ニ爲リ

マシタ、次ニ宮崎榮治君ノ修正ガアリマス、修正文ヲ朗讀シテ然ル後……

○宮崎榮治君(二百八十二番) 贊成ノ有無ヲ確メマスル前ニ、一應喜多川君ニ申シテ置カシナラヌコトガゴザイマス、先刻委員一人ナル喜多川君ハ第二號ハ定期ト云フモノハ籠ヲテ居ラヌト云フ辯明デアリマシタ、然ルニ此第二十條ノ中ニ定期償還金ト云フコトガアルノデアリマスル、第二十條ニ無抵當ニテ借入ヲ爲シタル市町村其他法律ヲ以テ組織セル公共團體ニ於テ、年賦金定期償還金云々、此所ニ定期償還金ト云フコトガアルノハ、即チ公共團體或ハ市町村ニモ定期デ貸付ヲ爲スト云フコトニ察セラレマスル、或ハ委員一人ナル喜多川君ノ考ハ違フテ居リハセヌカト考ヘル

○喜多川孝經君(百八番) サウスルト私ガ全ク考ヲ達ヘテ居リマシタ、宮崎君ニ其事ヲ一寸申上ゲマス、私ガ出シマシタノハ前申シマシタ意味デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 宮崎君ノ修正說ヲ朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)

第六條

第一號中定期及ヲ定期又ハト改ム

委員會插入ノ

第一號中三十箇年以内ニ於テノ下ヲ定期又ハ年賦償還ノ方法ニ依リ無抵當

○議長(楠本正隆君) 是ニハ定數ノ贊成ガアリマスカ——此修正案ニハ定數ノ贊成ガアリマセヌ、——門脇重雄君

○門脇重雄君(百五十八番) 此第六條ノ第四號ヲ削ルト云フコトハ、是ハ餘程重大ナル事デゴザイマスル、此農工銀行ハ所謂題字ノ如クデアル、農業、工業、改良發達進歩ヲ圖ル銀行デアル、然ルニ之ヲ削ルト云フ論者ノ精神ハ、二十人以上無産ノ輩ニ貸付ケルト云フコト、効率デアルカラ之ヲ減ズルト云フノ精神デアル、然ラバ農業、工業ニ從事スルモノニアシテ、此銀行ヨリ借入レル所ノ抵當ヲ所持シテ居ル者ハ借リ融通ガ付クノデアル、又中產以下デアシテ、銀行ヨリ借入レル所ノ抵當ヲ持タナイ所ノ者ハ借入レルコトハ出來ナイト云フコトニナル、ソレデ之ヲ削ルト云フ方ノ論者ノ說ニ依レバ、中產以下即チ抵當ヲ持タナイモノハ貸サナイト云フコトニナルノデアル、是レ甚ダ不公平ナル處置デアル、私ノ調査ニ依レバ全國現在ノ農家ハ五百万戸餘デアリマスル、而シテ此大多數ノ農家ノ中テ、小作ノミニ從事シテ居ル農家ハ百七十餘万戸デアル、又自作小作ヲ兼ネテ居ル農家ハ二百五十戸デアル、又田畠八段歩以上ヲ耕ス者ハ百五十万戸バカリデアル、田畠八段歩以下ヲ耕ス者ハ三百万戸バカリデアル、農家バカリニシテ今私ノ調査スル所ニ依レバ、中產以下ノ農家ハ實ニ莫大ナルモノニアル、而シテ此中產以下ノ農家ガ眼目トシテ農事ノタメニ借入レヤウトスルノハ、或ハ牛馬ヲ買入レ、或ハ肥料ヲ買入レ、是等ノ如キハ即チ信用ニ依シテ、此農工銀行ヨリ借入レテ改良發達ヲ圖ラナケレバナラヌ、是ハ其四號ヲ取ツテシマヒマスルト云フト、是等ノ類ノ多數ノ小農者ガ借り道ガ塞ツテシマフデアル、農工銀行ヲ以テ農業工業ヲ保護スルト云フ以上ハ、平等ニ保護スルノガ相當デアル、併テナガラ未ダ信用組合ト云フモノモアリマセヌカラ、幾ラカ効率ニハ私モ考へル、併シソレハ農工銀行ノ内規トカ、定款トカト云フモノヲ以テ、能ク十分ニ調査ヲ遂ゲ、効率ノナイト云フ見込ヲ以テ貸付ケマスレバ、決シテ効率ナ事ハナイト考ヘル、故ニ委員會ニ於キマシテハ審議ノ末、此四號ニ對シ其信用ノ確實ナルモノニ限リマス事柄ヲ入レタノデアル、唯銀行ノ効率ナリト云フコトヲ的ニシテ、此貴重ナル四號ノ項目ヲ削ルト云フコトハ甚ダ不同意デアリマス、故ニ聊カ之ヲ存スル精神ヲ述ベマス

○重野謙次郎君(二百三十九番) 門脇君ニ質問致シマスガ、此連帶責任ヲ以テ借用ヲ申入レタル者ハ、信用確實ナル者ニ限リト云フノデアリマスガ、原案ノ通ニシテモ私ハ差支ナイト思フガ……

○門脇重雄君(百五十八番) 重野君ニ御答致シマス、ソレハ銀行ノ提出種々ナル勤キニアルト考ヘル、固ヨリ此銀行ノ内規ヲ作りマス以上ハ、或ハ或村内カラ二十名ノ借用人が出マスルト、是ニハ或ハ其村デ地租五圓以上ヲ拂メル方法ガアラウト思フ、唯徒ラニ之ヲ効率ナリト云フテ取除クト云フコト

ハ甚ダ其業ニ對シテ不親切ナル仕方ト考ヘル
〔採決タ々ト呼フ者アリ〕

○松尾寛三君(百五十五番) 私ハ修正デゴザイマス

○議長(楠本正隆君) 併シ修正説ナレバ已ムヲ得ナイ

○松尾寛三君(百五十五番) 修正ト云フテモ、前川君ノ説ヲ贊成スルノデス

○議長(楠本正隆君) 前川君ノハ削除デアル、削除ハ原案ニ反対デアル、ソレヲアレバ討論ニナリマス——是ヨリ決議ヲ採リマス、河島君ノ修正案工藤君ノ修正案、ソレニ委員會ノ修正案トアリマス

〔前川君ノモアルト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 前川君ノハ原案ノ二號ヲ削除スルト云フノデアル

○前川慎造君(二百四番) 私ノ度々立チマシタノハ、サウ説ガ種々ニ分レマシテハ因リマスカラ、自分ノ説ヲ取消シマシテ、河島君ノ説ト一緒ニ合スルコトニ致シマシテ、即チ河島君ニ贊成致シマス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、河島君ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマスル、工藤君ノ修正ハ原案ノ二項以下ニ關係シマス、因テ第六條ノ本文ダケハ別ニ御動議ガナケレバ決定ヲ報ジマス

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマス、因テ委員會ノ修正ガアリマスル「定期及」ト云フ三字ヲ插入スルコト

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 是ハ別段御異議ナシト認メマス、因テ委員會ノ修正通

ニ決シマスル、其次ハ委員會ニ於テ第二號ヲ新ニ挿入ニナリマシタ、決議ヲ採リマスル、委員會ノ修正第二號ニ同意ノ諸君ハ起立

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 多數因テ委員會デ插入ニナリマシタ、第二號ニ可決

ニ原案ノ第一號、第三號、原案ニ就イテ決議ヲ採リマス、——工藤君ノ修正案ニ贊成ノ諸君ハ起立

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 多數因テ工藤君ノ修正説ハ消滅致シマシタ——次

ニ原案ノ第一號、第三號、原案ニ就イテ決議ヲ採リマス、原案ノ二號、三號ニ同意ノ諸君ハ起立

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

○議長(楠本正隆君) 多數因テ工藤君ノ修正説ハ消滅致シマシタ、——次

ニ原案ノ第一號、第三號、原案ニ就イテ決議ヲ採リマス、原案ノ二號、三號ニ同意ノ諸君ハ起立

〔異議ナシ異議ナシト呼フ者アリ〕

的ノ第一開墾、排水、灌漑ト云フ所ノ下ニ「田畠散地ノ合併」トシテ、ソレカラ及耕地土質ノ改良ト云フヤウニ續クノデアリマス、即チ「田畠散地ノ灌漑」ト云フ七文字ヲ加ヘタイト云フ修正デアリマス、其理由ヲ簡單ニ述ベテ置キ

マスガ、成ル程此農工業ノ改良進歩ヲ圖ルニ就イテハ、開墾、排水、灌漑ト

云フコトハ最モ必要デゴザイマスルコトハ本員モ認ムルノデアル、是ニ續イテ日本ノ地形上田畠殊ニ田地ト云フモノハ細マイ筆數ニ爲ツテ居ツテ、其上ニ方々ニ同ジ所有者ガ持ツテ居ツテモ地面ガ散亂シテ居ルノデアリマス、故ニ此銀行ノ力ニ依ツテ其細マイ筆數ト方々ニ散亂シテ居ルノヲ一ツニ集メテ、彼ノ中農以上ノ仕方ヲ爲スガ如ク、牛馬ナリソレノ、器械ヲ使用シテ、此耕耘ヲ爲シタナラバ大ニ農業ノ進歩發達ヲ來スコトガ出來ヤウ、即チ器械ヲ以テ耕耘ヲ爲スコトガ出來ルデアラウト思フノデアル、殊ニ諸君ノ御承知ノ如ク、斯ク筆數ガ小サクナツテ居リマスガ故ニ、其境ニハ必ズ一ツノ畔ト云フモノガアル、是レ亦田畠ノ總筆ヨリ全國ヲ通算致シマシクナラバ、大ナル不經濟ノモノト思フ、ソレ等ノ關係ガゴザリマスル故ニ、散亂致シテ居ル所ノ土地ヲ一ツニ纏メルタメニ、此第七項ニ「田畠散地ノ合併」ト云フ所ノ目ヲ掲ゲタナラバ、誠ニ諸君ノ御希望ノ如ク農工銀行ノ設立ノ目的ノ如ク、結果シテ農業ノ進歩發達ヲ圖ルコトガ出來ヤウト思フノデゴザリマスカラ、諸君、満場一致ヲ以テ是マテ御贊成アツタ所ノ此立派ナル農工銀行ノ法案ニ對シテ、モウツツ茲ニ花ヲ咲カセタガ宜カラウト思フノデス、即チ諸君ガ定メテ是ニハ満足ヲ表シテ御贊成ニナルコト、信シマス

○田中鳥雄君(百二十八番) 政府委員ニ一寸御問申シテ置キマス、唯今河島君ノ御説ハ、此法案ニ在ル耕地土質ノ改良ト云フ中ニ含ンデ居ツテ、別段此儘ニシテ置イテモ差支ナイと思ヒマスガ、之ヲ一寸御問申シマス

○喜多川孝經君(百八番) 私ハ唯今ノ河島君ノ御説ニ至極贊成デゴザリマス

○田中鳥雄君(百二十八番) 政府委員ニ一寸御問申シテ置キマス、唯今河島君ノ御説ハ、此法案ニ在ル耕地土質ノ改良ト云フ中ニ含ンデ居ツテ、別段此儘ニシテ置イテモ差支ナイと思ヒマスガ、之ヲ一寸御問申シマス

○門脇重雄君(百五十八番) 私ハ此七條中ノ第七項ニ對シテ修正致シタ、
第七項ハ概括シテアル項目デアリマスルカラ、其事業ヲ指摘スルト云フノデ
ナイ、農業工業ヲ概括シテアル所ノ項目デアル、然ルニ原案ノ文章ニ依ルト
云フト、前各項ノ外農工業ノ改良トアル、概括シテアル所ノ項目ヘ持ツテ來テ、
改良ト云フノミニ止メルト云フノハ甚ダ勵ノ區域ガ狹クナル、故ニ私ハ此改
良ノ先ヘ持ツテ往ツテ「又ハ起業」ト云フコトヲ入レルト云フト、餘程此概
括シテアル所ノ項目ノ効キガ廣クナルト考ヘル、故ニ「又ハ起業」ト云フ四ツ
ノ文字ヲ加ヘダイト考ヘル、此意ヲ述ベマス

○議長(楠本正隆君) 河島君ノ修正案ヲ朗讀致シマス

(町田書記官朗讀)

○議長(前條ノ貸付ヲ爲スハ左ノ事項ニ使用スルモノニ限ル

一 開墾排水灌漑ノ下ニ「田畠散地」ノ合併ノ七字ヲ追加ス

○議長(楠本正隆君) 河島君ノ修正案ニハ、定數ノ賛成アルカ如何ヲ確メマ
ス

(「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 定數ノ賛成アリト認メマスル——第七條ノ本文ヨリ第
七號マテ、併セテ修正案ニ就イテ決議ヲ採リマス

○議長(楠本正隆君) 小畠岩次郎君(二百三十六番) 反對ノ意見ガアリマス、御許シニナレバ……

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 河島醇君ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立

(少數)

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマスル、因テ河島君ノ修正案ニハ……

(「採決々々」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 少數ト認メマスル、因テ其通決シマス、以下ハ御
タ、次ハ第七條ノ本文ニ委員會ノ修正ガアリマス委員會ノ修正ニハ……

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 異議ナシト認メマスル、是ハ御動議ナキヲ以テ、總テ原案ニ決シマスル、次ハ第八條ヨリ第十九條マヂヲ議題ト爲シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 是ハ御動議ナキヲ以テ、總テ原案ニ決シマスル、次ハ
第二十條、委員會ヲ插入ニナリマシタ新ナル一條デゴザリマス

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○宮崎榮治君(二百八十一番) 私ハ此二十條ニ就イテ喜多川君ニ御照會シタ
イノデアリマス、果シテ裏ノ御精神デアリマスレバ、此二十條中ノ定期償還
金ト云フノハ、全ク不必要ナモノト考ヘル、此年賦金償還金ヲ期限前ニ返スコ
トガ出來ルト、是ハ外ノ文章ガアル、然ルニ此二十條ノ場合ニ至ツテハ、監
督官廳ノ處分ノ請求ヲ求メルコトガ出來ル、其場合デアリテ元々定期ニ貸付
ケタ金デナケレバ、此定期償還金ト云フモノハアルベキ道理ハナインデアル、

果シテ裏ノ御精神通リデアリマシタナラバ、此文字ハ御削ニナッテハ如何デ
ゴザイマスカ、併シ外ニ理由ガアルナラバ承リタイ

○喜多川孝經君(百五十六番) 本員ハドチラデモ宜シウゴザイマス、私ハ全體此

○政府委員(添田壽一君) 若シ此修正案ノ二十條ニ於キマシテ、定期償還金
ヲ御残シニナリマシタナラバ、ドウシテモ六條ノ修正ノ二項ニハ宮崎君ノ御
説ノ如キ「定期及」ト云フ文字ガ「無抵當ニテ」ト云フ文字ノ下ニ這入ルベキノ
デアラウト存ズルノデアリマスカラ、御参考マデ申述ベテ置キマス

○喜多川孝經君(百五十六番) 私ハ又唯今ノ添田サンノ御説ト違ツテイラヌト思
ヒマス、アスコヘ「定期及」ト云フ三字ヲ持ツテ往ツラ十五條ノ……手數料
ヲ取リマスカラ、私ハ二十條ヘハツキリ書イテアレバ、別段書クニ及バスト
思ヒマス、ソレハ大ニ考ガ違ヒマス

○宮崎榮治君(二百八十二番) どちらガ宜イトカ云フ御見込ノヤウデシタ

ガ、御取消ニナル方デセウカ

○喜多川孝經君(百五十六番) 私ハ取消シタ方ガ宜カラウト思ヒマス、元來私ハ

取消ス方ノ意見デゴザイマシタカラ、唯取消スト云フコトヲ以テ、茲ニ動議

ヲ一つ提出致シマス

○議長(楠本正隆君) 是ヨリ委員會挿入ノ第二十條ニ就イテ決議ヲ採リマス

ル

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 而シテ若シ此條ガ可決シ、之ガタメ前決議シタル第六

條ニ響キヲシタル時ニハ、第三讀會ニ於テ御注意ヲ促スヨリ外ナイト思ヒマ

ス、能ク御考慮ヲ請ヒ置キマス、委員會挿入ノ第二十條ニ同意ノ諸君ハ起立

(多數)

○議長(楠本正隆君) 二十條ニハ委員會ノ修正ガアリマス

二十八條マテ議題ト爲シマス

(「異議ナシ異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ此條ハ可決致シマシタ、次ハ第二十條ヨリ

改メル、此説ヲ提出致シマス

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 二十條ノ委員ノ修正案ニ御異議ガナケレバ、修正案ニ

決シマス、其以下二十四條マヂハ原案ノ通ニ決シマス、次ハ第二十五條ニ田

口君ノ修正ガアリマス、賛成ガアリマスカ

(「賛成々々」ノ聲起ル)

○議長(楠本正隆君) 決議ヲ採リマスル、田口君ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起

立

(少數)

○議長(楠本正隆君) 少數、因テ田口君ノ修正説ハ消滅シマシタ、——二十

五條及二十六條共ニ委員會ノ修正ガアリマス、御異議アリマセヌカ

〔委員會ノ修正ニ異議ナシ〕ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 然ラバ委員會ノ修正案通ニ決シマスル、第二十七條及
第二十八條ハ御動議ナキヲ以テ原案ニ決シマス、次ハ第二十九條ヨリ三十二
條マテヲ以テ議題ト爲シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 二十九條ハ委員會ノ修正ニ御異議ナケレバ其通ニ決
シ、其以下ハ御異議ナケレバ原案ニ決シマス、以下ハ第四章——準備金第三
十四條ヨリ第四十六條マデヲ議題ト爲シマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 是ニハ委員會ノ修正案モアリマスルガ勸業銀行法案ニ
修正ヲ加ヘタ結果及本案修正ノ決議ノ結果デアリマスカラ、別ニ決議ハ採リ
マセス、悉ク委員會ノ修正通ニ決シマス、次ハ委員會插入ノ第四十八條ヨリ

第五十一條マデヲ議題ト爲シマスル

○宮崎榮治君(一百八十一番) 四十八條以下ハ附則ノ先ヘ持ツテ往クベキ苦
デアリマセヌカ

○工藤行幹君(百十番) 委員ノ修正ヲ削除スル說ヲ提出シマス、併シ是ヲ削
除シタナラバ、或ハドウナルカ、組織スルコトガ出來ナイカト云フ懸念ガア
ルカモ分ラナイガ、是ハ商法ニ規定ガアリマスカラ決シテ差支ナイ、其理由
ハ先キニ登壇シタトキニ述ベタノデアリマスカラ、述ベマセヌ

〔賛成々々〕ト呼フ者アリ
○議長(楠本正隆君) 四十八條カラ五十一條マデノ修正ノ趣意ニ關シテハ反
對モアリマスカラ決議ヲ採リマス、委員會ノ修正案ニ同意ノ諸君ハ起立
起立者多數

○議長(楠本正隆君) 多數ト認メマス、委員ノ修正通決シマシタ、次ハ原案
ノ第四十七條ハ御動議ナキヲ以テ原案ニ決シマス、是ニ於テ二讀會ヲ終リマ
シタ
○木村誓太郎君(二百七十番) 宮崎君ノ御心付モアリマシタガ、附則ト云フ
字ハ四十八條ノ前ニナルデゴザイマセウ
○議長(楠本正隆君) ソレハ委員長ガ訂正ニナフテ居リマス
○吉本榮吉君(八十二番) 直ニ三讀會ヲ開カレタイ
〔賛成々々〕ト呼フ者多シ

○議長(楠本正隆君) 條項及字句ノ整理ハ相變ラズ議長ニ御一任ヲ請ヒマ
ス、直ニ三讀會ヲ開クコトヲ議長ヨリ請求シマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ
○議長(楠本正隆君) 御異議ナキヲ以テ直チニ三讀會ヲ開キマス
字ハ四十八條ノ前ニナルデゴザイマセウ
○議長(楠本正隆君) ソレハ委員長ガ訂正ニナフテ居リマス
○吉本榮吉君(八十二番) 直ニ三讀會ヲ開カレタイ
〔賛成々々〕ト呼フ者多シ

農工銀行法案(政府提出)

第三讀會

○工藤行幹君(百十番) 原案廢棄ノ說ヲ提出シマス、其理由ハ多クハ申シマ
セス、斯ノ如キ行政官ノ機關ト爲ルヤウナ新聞ヲ置クノハ(笑聲起ル)國家ニ
大害ヲ遺スト思ヒマス故ニ、之ヲ廢棄シマス
〔賛成々々〕ト呼フ者多シ

○議長(楠本正隆君) 兹ニ諸君ニ御協議致シテ見タイコトガアリマス、先刻

述ベマシタ通第二十條ガ委員會ノ修正通決定シタル以上ハ、第六條ノ第二項
中ニ「定期及年賦償還ノ貸付ヲ爲ス」ト云フ如キ修正ガナクテハ、前後衝突ハ
セヌカト云フ心配ヲ生ジマスガ、別ニ氣遣ハゴザイマセヌカ、此等ノ整理ハ
議長ニ御一任ヲ請ヒマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) サウ云フコトニシテ確定ノ議ヲ採リマス、該案全部ニ
同意ノ諸君ハ起立
起立者多數

○議長(楠本正隆君) 多數、因テ該案ノ確定ヲ報ジマスル、次ハ日程ノ第三、
農工銀行補助法案一讀會ヲ開キマス

第二讀會

○議長(楠本正隆君) 該案ハ朗讀ヲ省イテ一括ヲシテ決議ヲ採リマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 反對ノ御動議ハナイト認メマスル、因テ二讀會ハ決定
ヲ報ジマス、直ニ三讀會ヲ開クコトヲ議長ヨリ請求シマス

○議長(楠本正隆君) 異議ナキヲ以テ直チニ三讀會ヲ開キマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(楠本正隆君) 御動議ナキヲ以テ該案ノ確定ヲ報ジマス
〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○佐藤忠望君(二百三十五番) 唯今議事日程變更ノ事ガゴザイマシタガ、一
寸諸君ニ申シテ置カネバナラヌコトハ、議事日程第四ト云フモノハ御配付シ
テアリマスル通、本院ニ於テ聊カ修正ヲ加ヘタイト云フ意見ヲ委員會ニ於テ
決シマシタ、ソレデゴザイマスルカラ若シ果シテ委員會ノ決議ノ通決定ニナ
リマスレバ、又再ヒ貴族院ニ回ラネバナラヌ議案デゴザイスルノデ、貴族院
カラ回付ニナツタノデアルカラト云フ御説モゴザイマシタガ、再ビ又貴族院
ヘ回ラナケレバナラヌヤウニ相成ルカモ知レヌト思ヒマス、是ハ一寸参考マ
デニ申シテ置キマス

○議長(楠本正隆君) 南野道親君ノ動議ハ、第六ノ日程ヲ繰上ゲテ議スルト
云フ日程變更ノ動議デアリマス、討論ヲ用ヒズシテ決議ヲ採リマス、日程ノ
變更ニハ
〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

○議長(楠本正隆君) 全ク反對ハナイト認メマス、因テ日程ハ變更セラル、
〔異議ナシ〕ト呼フ者多シ

コトニ決シマシタ、是ハ別段政府ノ同意ヲ要スルニハ及ビマセヌ、直ニ河川法案一讀會ノ續ヲ議題ト爲シマスル——湯本義憲君

第六 河川法案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員)

トアリマスノハ「専用」ノ間違デ「占有」ガ「専用」ト相成リマスノデゴザイマスカラ、ドウカ左様御承知ヲ……

○議長(楠本正隆君) 工藤行幹君

(工藤行幹君演壇ニ登ル)

○湯本義憲君(百六十五番) 諸君、私ハ委員會ノ經過ヲ御報告ヲ致シマス、河川法ノ委員會ヲ開キマシタノハ、今月十一日ニ第一回ヲ開キマシタ、委員長理事ノ互選ヲ爲シ(簡単「ト呼フ者多シ」)ソレヨリ同十二日ヨリ十三日ト午前ニ一回、午後ニ一回ゾツ各開キマシテゴザイマス(簡単「ト呼フ者多シ」)此本案ニ就キマシテハ、種々質問モアリマシテゴザイマス、討論モゴザイマシタガ、其極詰リ河川法全部ヲ政府案ノ如ク可決ヲ致シマシテゴザイマス(簡単「ト呼フ者多シ」)簡單々ト云フ御話デゴザイマスカラ、最モ簡單ニ致シマシテ、其内最モ其質問ノ重ナル所ト云フモノハ、第二十六條ノ地方負擔ノ割合デゴザイマス、其修繕ノ政府直轄ノ河川ノ地方費ト、國費ノ比較上ト大同小異デゴザイマシテ、僅カ異ナル所モゴザイマセヌカラ(「簡単々」ト呼フ者アリ)段々簡単々ト云フデゴザイマスカラ、此所ニ止メ置キマス、詰リ原案ノ如ク可決致シマシタノデゴザイマスル、ドウカ本案ハ可決アランコトヲ希望致シマス

○工藤行幹君(百十番) 私ハ本案ニ反対ノ意見ヲ……

○田中鳥雄君(百二十八番) 質問ガアリマス

○議長(楠本正隆君) 田中鳥雄君

○田中鳥雄君(百二十八番) 政府委員ニ御問申シマスルガ、此第七條デゴザイマス、此第七條ニ依リマスルト「地方行政廳ハ河川ニ關スル工事ヲ施行シ其維持ヲ爲スノ義務アルモノトス」此本文ニ依リマスルト云フト、此考案ニ當籍マル所ノ河川經常費用ト云フモノハ、今後ハ悉皆其府縣廳ニ持タシケレバナラヌモノトスウ認メマスルガ、左様デゴザイマスカ、ソレヲ一ツ、尙ホ引續イテ……

(政府委員官南部光臣君演壇ニ登ル)

○政府委員(南部光臣君) 御答致シマスガ、此法案ノ趣意ト致シマスル所ハ、河川ニ關スル費用ハ、總テ府縣ノ負擔ト云フノヲ原則ニ致シテ居リマスカラシテ、河川ニ關スル工事ヲ施行スル場合ニハ、其費用モ亦府縣ニ於テ負擔スルコト、御承知下サレタウゴザイマス

○田中鳥雄君(百二十八番) 尚ホ引續イテ御問致シマス、ソレデ實ハ百二十八番ナドハ、此七條ニ於テハ定メシ委員會ニ於テ十分ナル修正ガアラウト考ヘテ居シタ、豈ニ計ランヤ別ニ修正モナシ、今委員長ノ報告ニ依ルト、七條ノコトニ就イテ別ニ論ガナカタト云フノデ、私ノ見ル所ニ依フテ見マスルト、斯ノ如キ法ハ河川ノアル所ノ縣々ノ地方稅ノ賦課ニ、非常ナル不權衡ヲ生ズルモノト認メテ居リマス、政府ニ於テハ格別ノ不權衡モ、偏重偏輕ノ地方稅ハ生ジナイト云フ考デゴザイマスカ、御調査ノ結果ヲ一ツ伺ヒタ

(政府委員内務書記官南部光臣君演壇ニ登ル)

○政府委員(南部光臣君) 左様デゴザイマス、別ニ是ガタメニヒドイ偏重偏輕ハナイ考デアリマス

○湯本義憲君(百六十五番) 一寸正誤ヲ申上げテ置キマス、十八條ノ「占有」

モ諸君ト共ニ賛成シテ、現ニ今兩院ヲ通過シテ居ルノデゴザイマス、此手續ヲ以テスレバ、決シテ此淀川或ハ筑後川ノ改修ニ差支ナイノデアル故ニ、此案ニ書イテハアルケレドモ、願クハ政府デハ此法律案ハ法律案トシテ能ク議ニ掛カルシ、一方ニハ直グニ豫算ニ追加案ヲ出スナラバ、ソレヲ出シテ早ク此兩院ヲ通過セシムルヤウニスルガ、宣イジャナカト云フコトヲ云ヒマスルケレドモ、マア成ルベクハ之ヲ議サセテシマツテヤリタイト云フノハ、淀川ノ改修ヲ吾ミモ望ンデ居ル又諸君モ望ンデ居ルデゴザリマセウ、其望ニ掛カルモノヲ抵當ニ取シテ、此案ニ盲判ヲ押サセヤウト云フノハ甚ダ怪シカラヌコト、思ヒマス（ノウ）ト呼フ者アリ）決シテ淀川ノ改修ニ此案ガ通過シナケレバ、ヤリ得ラレタト云フコトハ何レノ點ニ在リマスルカ、豫算ヲ以テ河川ノ改良費ヲ出スニ何ノ差支ガアリマセウカ、何レノ法律ニ抵觸シマセウカ、何レノ憲法ニ抵觸シマセウカ、之ヲ是非ヤラネバナラスト云フコトハ、誠ニ私ノ解シ得ナイ所デゴザイマスル、殊ニ此案ノ段々私モ誠ニ極僅ノ間デゴザリマスルケレドモ、委員ニナックタ以上ハ二三遍之ヲ讀ンデ見マシタデゴザリマス、然ルニ如何ニモ此案ト云フモハ不體裁デゴザリマス、大體ノ趣意ハ私モ反對デハナケレドモ、誠ニ不體裁ナル案デゴザリマス、抑、諸君ガ之ヲ御覽ニナッタラ御分リデゴザリマセウ、全部デ六十七條ノ中ニ命令命令ト云フヨトヲ書イタノハ此中ニ三十八箇條程アル、抑、法律デナクシテ命令ヲ保護スルノ法律ト云フヤウナ鹽梅ニナシテ、一ツモノヲ譬ヘテ見レバ、命令デ定メタモノデ違反シタトキハ斯ウスル、ア、スルゾト云フヤウナ護スルタメニ法律ヲ設クリト云フヤウナモノニ爲ツテ居ツテ、第一不體裁ナコトデゴザリマスル、ソレデ此案デス、段々言ツテ見ルト、或ハ河川法案トテ命令ヲ施行スルト云フコトガアル、然ルニ此法律案ト云フモハ命令ヲ保護スルタメニ法律カト云ヘバサウデハナイ、即チ全國ノ四十四河川ニ之ヲ施ス積デアツタ、ソンナラ其四十四河川ニ確カト極シテ居ラナイ、此中壇淵ハ自ラ出來ルダラウケレドモ、云ハ全国ノ河川ニ對スル法律案カト思フテ見ルト、政府ノ答辯ニ依レバ、此四十四河川ニヤル積デアルト云フコトデゴザリマス、而シテ此案ハ私ハ法律トナラヌト思フヨトハ、第七章六十五條ニ斯ウ云フコトガ書イテアル、此ノ法律ノ全部若クハ一部ヲ施行スヘキ區域及時期ハ主務大臣之ヲ定ム之ヲ解説シテ見ルト、此法律ノ或ル部分、或ル國ノ一部ニ施行スト云フコトデ、即チ主務大臣ハ内務大臣デゴザリマセウ、内務大臣ガ之ヲ施行ス、期限モ亦其通デアル、ソレカラ第十條カラ第八條マデノ處ハ青森ノ何處ニ施行スルト云フヤウナコトデゴザリマス、斯ノ如キ事ハ私ガ法律ニハナルマイト思フノデゴザイマスル、私モ全國一般ニ小サイ川マデ斯ノ如キ法律ノ制裁ヲ下スト云フコトハ爲シ能ハザルモノト存シテ居リマスケレドモ、凡ソ四十四大川ナラ四十四大川デ宜シイ、其四十四大川ヘ一時ニ悉ク行フコトガ出來ナクテモ、四十四大川中ノ多數ノモノニ之ヲ施シ得ルト云フナラ宜シウゴザイマスガ、サウデナイ、施行ノ期限ガ一部ヲ示シ、全部ヲ示スセノデアツテ、期限ハ内務大臣ガ五年デ行フ處モアラウ、三年デ行フ處モアリ、或ハ淀川、筑後川ナラ早ク通過サセテ、其翌日カラ施行スルト云フヤウナコトデゴザリマスル、諸

君、如何ニ法律ト云フモノハ右様ニ立入ルモノデゴザイマセウカ、法律ト云フモノハ諸君モ御案内ノ通、一國ノ人民ガ之ヲ便トシ、行政官ニ之ヲ便トスル所デ、互ニ相俟ツテ行クモノデゴザリマセウ、私ハ法律ノ事ハ不案内ダケレトモ、未ダ曾テ議會開設以來斯ノ如キ法律ヲ見タコトハナイ、故ニ之ヲ矯正スルナラ何トカ六十五條ヲ改正シテ、又政府ノ意志ニ適フヤウニヤリヤウヲ言フテ見ルト澤山アルデゴザリマス（モウ分リマシタ）ト呼フ者アリ）ソシナ事ヲ言ハズニ、議員ハ議員ノ職ヲ御盡シナサイ、ソコデ此三十八條デゴザリマス、是ガ一々讀ンダラ長イコトデゴザイマスカラ省キマスルガ、此工事ヲ施行スル所ノ管内ノ土地、或ハ土石、或ハ砂礫、或ハ芝草、或ハ竹木運搬トキハ主務大臣ガ命令シテ、直段迄ノ勝手ニ定メル、ソコテ其直段ニ應ジナリトキハドウスルカト云ヘバ、先づ以テ主務大臣ガ此樹ガ一本十圓ト見込ンダトキハ、ソレダケノ金ヲ向フニ預ケテ、樹ハドシく伐フテ持ツテ來ル、土木ノ業ト云フモノハ他ノ事ト違ツテ、活動ナコトヲシケレバナラナイガ、如何ニモ斯ウ云フ法律ヲ立テルト云フコトハ、人權ノ何物タルヲ顧ミズ、物權ノ何タルヲ顧ミズ、實ニ野蠻國ノ法律ト言ハナケレバナラス（ノウ）ト呼フ者アリ）論者或ハ言フ、土地收用法ハ矢張サウヂヤナイカ

○議長（楠本正隆君）時間ヲ少シ延長致シマスル〇工藤行幹君（百十番）私ガ思フニ、土地收用法ハ土地ノコトニ限ルノニ、是ハ竹木運搬マデモ悉ク土地收用法ニ從ツテヤラヌナラヌナラ、私ガ例ヘバ立派ナ樹ヲ持ツテ居ル、筑後川ナラ筑後川ノ改正ヲスルニ就イテ樹ガ入用デアル、ソコテ幾ラニシロト行政官ガ言ツテセ、ソレデハ困リマスト云フトキニ、免ニ角十圓ノ金ヲ遣ルト云ツテ持ツテ行クト云ヘバ、ソレダケノ事デゴヘルコトモ出來ルガ、或部分ニハ何處ニ訴ヘテ宜イカ、訴ヘテ行ク處ガナイザイマス、斯ノ如キ不當ナコトヲヤルト云フコトハ、實ニ私ガ奇々怪々堪ヘヌト思フノデゴザリマスル、又或ソレ等ノ事ニ就イテセ、隨分訴訟ヲ起スニ就イテモ制限ヲ立テ、居ル、或部分ニ就イテモ行政ノ尋常ノ裁判所ニ訴ヘルコトモ出來ルガ、或部分ニハ何處ニ訴ヘテ宜イカ、訴ヘテ行ク處ガナイト云フヤウナ法律モ拵ヘテ居ル、或ハ地方官ノ事ヲ内務大臣自ラ執行スルコトモヤクテ居ル、隨分サウ云フ類ヲ舉ゲテ見ルト、私ガ一々ハ申シマセヌケレドモ此第七條ノ末項、第十四條ノ二項、二十三條、二十八條、三十八條、六十一條ノ末項、六十四條、六十五條ト云フヤウナ如キモノハ、多少修正ヲセナケレバ、此立憲政治上ノ法律トハ見ラレヌダラウト思フ、而シテ寧口此法案通ニヤルナレバ、河川法ト云フヨリハ、河川改修ノ法案トデモ名ヲ附ケテ、河川ノ改修ノ時バカリニヤルト云フナレバ宜シイガ（簡単々々）ト呼フ者アリ）靜ニシテ御聽キナサイ（簡単々々ノ聲起ル）簡単拵ト言ヘバ、殊更ニ長クヤリマスゾ（殊更ニ長クトハ何ダ）ト呼フ者アリ草刈親明君一殊更ニ長クト言フノハ不當ノ事デス、要意ヲ以テ演説スルノカト呼フ諸君等モ（不當ノ事ヲ言フナ）ト呼フ者アリ）小室重弘君不當極ル（ト呼フ）ナゼ辯論ヲ妨ダマスルカ（甚ダ無禮ダ、議長ガ注意シタマヘト呼フ者アリ）決シテ無禮デナ（無禮ダ）ト呼フ者アリ）何ガ無禮ダ、妨ゲル者ガ無禮ダ（左様ナ事ヲ言フノハ不當ダ）ト呼フ者アリ）此二十六條ノ規定ニ依レバ、之ガタメニ此經費ニ

ハ（モウ分ッテ居ル）ト呼フ者アリ大關係ヲ及スノデアル、例ヘバ從前ノ法案ニ依ルト、是マデノ所デ見テ事柄ガ違テ來レバ、地方費ト云フモノハ總掛リノ内デ四百万圓イル所爲シテ居ル、大體此計算カラスレバサウナルノデアリマス、諸君、隨分此事ニ持テ來テ、今度ノ案デハ七百万圓ノ地方費ヲ出サナケレバナラヌコトニハ、河川ノ改良ニ就イテハ、此官費、地方費ノ區別ト云フコトニ就イテハ諸君等ト共ニ往々論シタコトノアルノデゴザイマス、然ルニ此二十六條ノ單一ナル所ヲ以テ、之ヲ能クモ調査シナイデ、先ヅ是デ宜カラウト云フテ見タ所デ、最早法律ト爲リテ出シタ上カラハ動カセルモノデハナイ、私モ河川ノ事ニ就イテハ政府ノ補助ヲ仰ギタイカラ、此金ヲ多クシタイト云フノデハナイノデゴザイマスケレドモ、或ハ此地方ニ依クテ大キナ河ノーツアル府縣ハ其割合ガ大變ニ良クナカツテ河ノニツモ四ツモアル處ハ却テ惡ルクナルト云フヤウナコトガアル、ソレハ大體ノ金ヲ増サナイデモ、亦此度ノ淀川トカ、筑後川トカ云フモノニハ少モ妨ガナイデ、是等ノ事ヲ改正シヤウト思ヘバ改正ノ出來ルコトガアルノデゴザイマス、然ルヲマダ之ヲ見ナイデ、唯勢デ以テ之ヲ決シテ、決シタ上ハ直チニ讀會ヲ開クトシタナラバ、ドンヽヤツテ悉ク御明瞭ニ分ッテ居ル御方ハ甚ダ——未ダナイトモ言ヘマスマイ（失敬シマッテ、今日ノ中ニ三讀會ヲ開イテヤツテシマフト云フ御精神デアラウガ、マア能ク此案ヲ御覽ニナッテ暗記シテ、何處カラ不審ヲ打タレテモ差支スウ云フ際ニ天下一般ニ關ル數百年ノ基本トモ爲ルベキ法律案ヲ指ヘルナク、答ノ出來ルト云フ御方ナレバ格別デアルガ、恐ラクハ私同様ニ此案ヲニドシヽ之ヲ決シテ、ソレカラ貴族院ニ回シテヤツタ所デ、衆議院デハコシナ物ヲ一夜作リテ指ヘタトハ餘リヒドイト言ハレテ否決セラル、カ、若クハ修正ヲサレテコチラニ回サレテ見ルトカ、又之ヲ他ノ新聞記者ニデモ之ヲ評サレテ見タナラバ、此議院ト云フモノハ實ニ面目ガナカラウト思フ（然ラスト呼フ者アリ）（南野道親君ノウヽト呼フ）マア此請負デモスル人ハ、工事デモ澤山アレバ宜シイカ知レナイガ、法律ト云フモノハサウ云フモノデナイ、吾ミハ未ダ了解シナイ處ガ幾ラモアルノデ、ソレヲ無闇ニ委員會ニ於テハ盲判ヲサセ、三百人ノ議員モ少シモ審査ヲ盡サナイデ、之ヲ輕々ニ通シテヤラウト云フコトハ、如何ニモ吾ミノ名義上ト云ヒ、吾ミガ人民ニ對スル職分ト云ヒ、甚ダ相濟マヌコト、思ヒマヌル、故ニ私ノ考ヘルニハ此案ノ大體ヲ私ガ惡ルイト云フ譯デハナイガ、今一應更ニ委員ヲ選ンデ調査ヲシテ見タナラバ、必ず完全ノモノガ出來ヤウ、サウシテ此決議ノ時ヲ少シク延期シタ所ガ、淀川ノ改修ニ何ノ害ガアリマセウカ、筑後川ノ修繕ニ何ノ害ガアリマセウカ、決シテナイコト、思フ、唯政府ガ之ヲヤラセルガタメニ人ヲ擁シテ、之ヲ早クヤラナケレバ淀川モヤラヌゾ、之ヲヤラナケレバ筑後川モヤラナイト云フガタメニ、人ミハ皆早ク之ヲ通過セシメタイト思フノガアリマセウガ、其情實ニ至リテハ私モ万々御察シ申シマス（無禮ナ事ヲ云フナ）ト呼フ者アリ併シ今政府ニ於テ此ヤリ方ヲ少シ變ヘタナラバ、淀川ニモ、筑後川ニモ、少モ害ヲ及サナイデ出來ルノデアル、今一通り篤ト審議ヲシテ、吾ミモ之ヲ完全ナルモノトシテ、淀川モ害ヲ被ラズ筑後川モ害ヲ被ラズニ出來タナラバ、一般ノ人民モ大ニ安心ラ致スデアラウト思ヒマスカラ、私ハドウ

カ今一應議長指名ノ委員ニ掛ケテ、再調査ヲセラレンコトヲ望ムガタメニ斯ク登壇ヲ致シタノデアリマス

〔討論終結〕ト呼フ者アリ

○目黒貞治君（二十五番）一寸工藤君ニ伺ヒマスガ、工藤君ハ委員會ニ於テハ廢案論デアリマシタカ、修正論デアリマシタカト云フコトヲ御尋シマス、ソレカラ、工藤君ニ對シテ、委員會デハ賛成ガ幾人アリマシタカ、如何ト云フコトヲ伺ヒタ

〔詰ラナイ質問〕ト呼フ者アリ「無用々々」ト呼フ者アリ

○工藤行幹君（百十番）定足數ニ足ラヌト思ヒマスカラ、御調ヲ願ヒマス○議長（楠本正隆君）確ニ満チテ居リマス

〔草刈親明君〕工藤君ハ定足數ニ足ラヌノヲ知テ登壇シマシタカ」ト呼起立者多數

○議長（楠本正隆君）二讀會ヲ開クヤ如何ノ決ヲ採リマス、二讀會ヲ開クニ同意ノ諸君ハ起立

○議長（楠本正隆君）直チニ二讀會ヲ開クコトニ……

○議長（東尾平太郎君）多數、因テ該案ハ二讀會ヲ開クベキモノト決シマシタ

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長（楠本正隆君）異議ナキヲ以テ直チニ二讀會ヲ開カレンコトヲ希望シマス

〔全部ヲ議題トスベシ〕ト呼フ者アリ

○議長（楠本正隆君）然ラバ二讀會ヲ開キマス、而シテ全部ヲ議題トナシマスル

河川法案（政府提出）

○谷澤龍藏君（百六十二番）直チニ確定ヲ願ヒマス

〔贊成々々〕ノ聲起ル

○肥塚龍君（百七番）私ハ此議場ニ模様ヲ見マスルト、直チニ三讀會ヲ開ク

ト云フ場合デゴザイマスガ、私ハ無論賛成ハ致シマシタケレドモ、私ハモウ勿論此案ニハ贊成ヲ致シマスガ、如何ニモ是丈ノ大切ナ案ヲ一瀉千里ノ勢デ

出テ居ル、幸ニヤツケテシマウト云フコトハ、甚ダ穩デナイト思ヒマス、二

讀會ヲ開クト云フ、宣告ガアリマシタ以上ハ、致方アリマセヌガ、三讀會丈ハ他日ニ願ヒマス、餘リ輕率ナル舉動ト考ヘマス

○議長（楠本正隆君）即チ全部ヲ議題トシテ決議ヲ採リマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○議長（楠木正隆君）直チニ三讀會ノ結了ヲ報ジマス

〔異議ナシ異議ナシ〕ノ聲起ル

○湯本義憲君（百六十五番）直チニ三讀會ヲ開キマス

河川法案

〔異議ナシ異議ナシノ聲起ル〕

○議長(楠本正隆君) 明後日ノ日程ヲ報シマス
〔拍手起ル〕○議長(楠本正隆君) 明後日ノ日程ヲ報シマス
〔佐脇書記官朗讀〕

○議長(楠本正隆君) 第三十九號 明治二十九年三月十六日(月曜日)

第一 民法中修正案(政府提出)

第一讀會ノ續(特別委員)
(長報告)

第二 (甲)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出)

第三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第四 (乙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出)

第五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第六 (丙)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出)

第七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第八 (丁)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出)

第九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十 (戊)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出)

第十一 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十二 (己)豫定鐵道線路中私設鐵道會社ニ敷設許可ニ關スル法律案(政府提出)

第十三 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十四 東京府下郡廢置法律案(政府提出)

第十五 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十六 京都府下郡廢置法律案(政府提出)

第十七 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第十八 葉煙草專賣資金會計法案(政府提出)

第十九 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第二十 獄疫豫防法案(政府提出貴族院送付)

第二十一 移民保護法案(政府提出)

第二十二 静岡縣下郡廢置法律案(政府提出)

第二十三 岐阜縣下郡廢置及郡界變更法
律案(政府提出)

第二十四 愛媛縣下郡廢置法律案(貴族院提出)

第二十五 北海道鐵道敷設法案(貴族院提出)

第二十六 右議案ノ審查ヲ付託スヘキ特別委員ノ選舉

第一讀會

第一讀會